

▲コプラの需要 或は椰實と呼び、或は椰肉と稱する乾燥椰子仁(コプラ)は、食用油として、又たマーガリン、バターの原料として、近時の需要頓かに増加したるも、供給の容易ならざるが故に、歐米を通じて其不足は盛に叫ばれつゝあり。古々椰子樹の栽培地方は、之が爲め年々歳々に其収入を増加しつつあるも、此栽培事業は猶ほ初期に在りと謂ふて可なり。請ふ、此に世界に於ける其栽培状況を説かん。

▲ウーレー氏の報告 馬來半島地方は、其初め専ら護謨栽培を奨励せしも、近時此方面に投資する者の激増して、最早何等の奨励を必要とせざるに至りたれば、今や一轉して古々椰子栽培を奨励し始めり、昨年末、新嘉坡に開かれたる農林展覽會に参したるボルネオの土地委員ウーレー氏の北ボルネオにて公にせし報告は、此等の事情を語るに詳なり。曰く「我ボルネオのサンダカンやタダ其他東海岸に於ては、地方の食用としてのみならず、輸出品として椰子樹を栽培せり。其椰肉は良好にて、値も

高く、近年漸次に收穫を増し來れり、而して新圃の之が栽培に開拓されつゝあるは最も機を得たる者とせん。西岸地方にても、歐州人の開拓を創始せる新圃の椰子栽培に向へるあり。是等は、護謨栽培が最早一年以前に在りし如く、南洋林業中の唯一なる話題に非ざることを示すものとせん。蓋し椰子栽培事業に對する投資の安全にして利益の多きは、何人にも承認さるゝが故に、新嘉坡に開かれたる農業園藝品評會にては痛切に之を勧誘せんと試みたり。即ち近來馬來半島にて、椰子栽培を目的とせる土地の貸下又は賣却の多く行はれたるは、此の事の單に口説に止まらざることを證す。我ボルネオ地方も、錫蘭や馬來半島に譲らざる良品の椰實を産出するが故に、其栽培は奨励して可なり。之に就き、椰子樹を専裁すべき土地の貸下其他に關し便宜を與ふ爲めの特別條例は遠からず規定されん」と。

▲保護さる、椰子林 本年五月中、馬來半島の十六林業家が、資本金五十萬弗のステ

ンゴール椰子會社を創設するや。聯邦政府は斯かる率先的事業の奨励すべき値ありとて、通常なれば一エーカーに付金貳弗を納償せしむべき規定を寛恕し、一萬エーカーを無償にて永代貸下し、剩さへ地域の選擇を該會社に打ち任かせ、二千エーカー以上の敷口に分ち、會社の欲するがまゝの地方に之を選ばしめ、其地代は初年の一エーカーに付金十錢に始まり、毎年金十錢を追加し第十年に金壹弗を以後永久に納むべしと命令したり。這は著しき寛典にて、椰子林創設を奨励する外に何等の意味なきは、該會社が聯邦政府に對し此寛典の報酬として、毎年貸下地の四分一以上を拓殖すべく、又た椰子樹の栽付済ならでは、其貸下地を他に賣渡又は讓渡すなからんと誓約せし外、聯邦政府の勢力招徠政策を助くる意味にて、毎年、支那、爪哇或は印度方面より、百名以上の婦女を輸入し、其椰子林の勞働者に配偶せしめ、彼等の土着を奨励せんと請書せしにて知らるゝなり。

▲躍起せる英國人 蓋し椰肉が歐米にて年一年に痛切なる需要を喚起せる事情は、三年前、英國の一會社が、南太平洋群島、特にソロモン群島の椰子を歐洲に輸出せんと試み、熱心の極度に達せしや、歐洲にての市價の二倍半迄も、椰菓の集積に費やしたることありしにて語らるゝなり。而して此會社は、今や、南洋より轉じて、南阿コンゴ地方にホーム果を集め、之を以て椰菓の不足を補はんと試みつゝありと云ふ。歐洲に吸集さるゝ東洋の大豆は、概ね椰子油の不足に充てらるべき大豆油の絞取に供さるゝも、椰子の廉にして割合上放過すべからざるが故、需要は益々椰肉に向ひつゝあり。英國の資本家中には、近時此機に乗せんとて、往々錫蘭島土人の所有せる椰子林を買收せんと試むる者ありと雖も、椰子の如何に世界に需要さるゝやを知らざる土人も、猶ほ歐洲人の買付くる所には、必定何かの意味ありと付度するの智力あり。之が爲め、方外の代價を要求するの普通にして、機敏なる買手をして徒らに氣を揉ましめ

り。去れど、土人の不整理なる椰子林経営を看破し、其改良より来る利益は、彼等の要求せる方外の代償を數年間に償却し得んと豫算せる者共の、方外を忍んで買収するもあり。其餘債は漸次に馬來半島に洩らされ、聯邦地方に椰子林創設の目的にて入込める歐洲人は日に月に多く、ペラ州のみにて昨年末迄に椰子栽培豫定地として貸下られたる面積は六萬六千八百八十一エーカーに達せり。聯邦政府の報告に由れば、昨年末に於ける管内の椰子林は十三萬三百四十四エーカーなり。

▲米國人の椰子栽培 亞米利加合衆國にても、椰子の將來を有望なりとする者多く、去年頃より其東南のフロリダ半島に於て椰子林を創設する者、漸次に増加する傾勢ありと傳へらる。去れど、此方面が勢銀の非常に高くして、馬來半島地方のものと競争することの夢想たもし難きは明なり。

去れど、米國人が自由に起業し得べき比律賓群島も、品評上第二或は第三位のものな

林業部調査、三上、藤大、崎岡、尾見、三島島民撮影



（月々八年三後付載月一年一十四）

り。去れど、土人の不整理なる椰子林經營を看破し、其改良より來る利益は、彼等の要求せる方外の代價を數年間に償却し得んと豫算せる者共の、方外を忍んで買収するもあり。其餘憤は漸次に馬來半島に洩らされ、聯邦地方に椰子林創設の目的にて入込める歐洲人は日に月に多く、ペラ州のみにて昨年末迄に椰子栽培豫定地として貸下られたる面積は六萬六千八百八十八エーカーに達せり。聯邦政府の報告に由れば、昨年末に於ける管内の椰子林は十三萬三百四十四エーカーなり。

▲米國人の椰子栽培 亞米利加合衆國にても、椰子の將來を有望なりとする者多く、去年頃より其東南のフロリダ半島に於て椰子林を創設する者、漸次に増加する傾勢ありと傳へらる。去れど、此方面が勞銀の非常に高くして、馬來半島地方のものと競争することの夢想だもし難きは明なり。

去れど、米國人が自由に起業し得べき比律賓群島も、品評上第二或は第三位のものな



椰子栽培の風景、三上、澤大、崎岡、三島、島田、島田、島田、島田

（月ヶ八年三後付載月一年一十四）

がら、椰子の産地として見落すべからざる一なりとす。往時の西班牙領時代、其椰肉は多く歐洲に輸出されしも、米領以來、合衆國に向け輸出さるる額の更に加はれるを以て、近年の輸出は頓に増加せるのみならず、椰樹栽培は同群島に於て、今や麻に次げる産業と見做され、一昨年は一億六千八百四十七萬四千封度の椰實を輸出し、昨年は二億五千四百餘萬封度を輸出するに至れり。豈に驚くべき増加に非ず乎。然も、其價の年々昂騰するのみにて、前年一封度に付き七仙なりしもの、本年初は七仙以上に争はれ、時としては八仙を呼ぶ勢なりと云ふ。是れ獨り比律賓のみにて然るに非ず、世界の到る處皆な斯の如きこと、英國人の南洋島に於ける舉動や、錫蘭及び馬來半島に於ける林業家の活動に徴して明なり。

第十章 椰子林及び其計算

▲椰子樹の説明 人若し椰子樹の如何を問はば、高さ十數尺の大蘇鐵に徑七八寸の鈴の如き果の數多を叢生せしめたるを想像せよと答へん。南洋に渡來せる者にして、椰子林の風致を知らんと欲せば、車を新嘉坡の北郊に驅り、南洋名勝の一たるタンジヨン、カトンの椰子林を訪へよ。椰子は鹽氣を好む植物なり。隨つて海岸線に栽ゆるに好し。聞く、南米巴西の海岸二百餘哩は、野生椰子樹の無數が、白砂青草相接するの邊に連續し、實に世界の偉觀中に數へらるべき風光を現せりとなん。頂上まで一枝も有せざる直幹の空を突ン劈ク計りに屹立せるは、所謂ゆる奇を要せざる所に奇の存するものとせん。若し唐宋の詩人をして之を看せしめなば、必ずや那の修竹と併稱して、其風致を鼓吹せしならんも、天は之を南洋不文の界に生長せしめ、韻事風流の何たるを解せざる蠻人の茅屋に侍立せしめり。馬來人には往々數百乃至千本の椰子樹を所有し、其果實の賣上に一家數口の命を託せる者あり。其の人頭大の果實は、厚さ寸餘の

棕櫚様の纖維皮を外包とし、更に厚さ二分餘の硬松にて其肉を裹つめり。肉は厚さ三分乃至四分にして、中心の空處には一種の滋味ある酸水を含み、其肉を食ひ其水を飲めば、以て南洋の伯夷叔齊の生涯を享くることを得ん。纖維皮は刷毛或は蒲團の心として用ひられ、硬皮は燃料とし、椰肉は輸出物の最も景氣好き物たり。

▲世界椰子の産地 南洋の椰子にて最も稱賛さるゝは、錫蘭島及び印度マラバール海岸の其れにして、次は馬來半島錫蘭諸島たり。而して比律賓群島其次に來る。南太平洋群島の其れに至つては、殆ど格付の外に排斥さるべきも、近年の品切れの爲め、亞米利加人と濠洲人とに争はれ、歐洲人の驚愕せる價を付けられつゝありと傳へり。フロリダの栽付椰子や、巴西の野生樹の外に、中部亞米利加の各地は、孰れも椰子を以て有名なり。去れど、交通の不便なる故、未だ大に世界市場に輸出されず、多くは其地方に於て消費さるゝ有様なるも、巴拿馬運河の開通後は、此地方の産出を以て、幾分

か合衆國の需要を緩和し得んと云へり。

▲椰子の收穫及年齢 一昨年之事とかや。或る好事家は不確實ながら、世界椰子樹の数を計算し、老少合計二億五千餘萬本、其地域は約三百萬エーカーなるべしと發表せしとぞ。錫蘭并に其他に行はるゝ栽培は、概して一エーカーに七十本乃至七十五本なるも、或る理想家は、護謨樹と同様、椰子樹にも三十三呎の距離を與へ、一エーカーに四十本を栽付くる方却て收穫を豊富ならしむべしと主張せり。椰子樹は栽付後の第七年より結果し始め第三十年乃至四十年を最盛期とし、第七八十年に枯死す。初期の三四十顆より漸次に増加して、百五十顆を結ぶと説く者あり。錫蘭島の椰子林にては、平均四十五顆を以て損益豫算の礎基とせるが如し。是れ最も確實なるものならん。

▲椰子栽培の注意 椰子樹は、護謨樹よりも一層雜草を畏るゝ性質あり。故に植付後の鋤草の特に注意さるべきは勿論、虫害の綿密に豫防されざるべからざれば、栽培地

維持費の護謨林に比して幾分か多かるべきなり。去れど、其收穫年齢に達せる曉も、猶ほ前日に幾分の労働者を増加して事足るべきは、護謨林が、其收穫年齢後、殆ど労働者の爲に其業を盛衰せしむると大に趣を異にす。是れ這の兩國の林業の差の存する所。若し夫れ栽培地創始の作業に至つては、彼と此と何等の相違あることなし。請ふ、是より錫蘭島に於ける椰子林業家の計算なりと傳へらるゝ所を述べん。

▲錫蘭に於ける計算 錫蘭島に行はるゝ二十二呎距離の栽付方にて、一エーカーの樹數約七十本なるを普通とす。其收穫は每樹四十五顆と見積らる。這は年齢十年乃至二十年の樹に就ての見積なれば、最盛期に達せる椰子林の標準は、頗る之を超ゆべき筈なり。此普通なる見積に由り、椰子林の一千エーカーは、樹數七萬本にて、毎年の收穫約三十萬顆なり。錫蘭にて椰肉賣買の單位は、一キャンデー即ち五百六十封度にして、四キャンデーを一噸とすべく作られたるなり。錫蘭椰子は平均千三百にて一

キャンデーの椰肉を得べく、蘭領南洋の其は平均千五百六十を要し、比律賓の其は平均千七百個を要すと云ふ。去らば、一千エーカーの收穫は、錫蘭にて椰肉二千三百十キャンデーを製作し得らるゝなり。其相場は毎キャンデー約八十ルピー即ち日本貨の約五十二圓内外なるを通例とし、一千エーカーの生産椰肉代價拾貳萬壹千九百圓と概算し得べし。

▲椰子林經營費 椰子樹は年が年中、結果し續くるが故、其採集者の員數を増減する必要なく、鋤草者と共に常置して可なり。南洋土人は、往々、猿族を訓練して其採取に従事せしめ、以て勞銀を節約すと稱す。這是經營費節約の最妙策ならんと思はるれども、尋常の經營には、尋常の方法を基礎し、人力の使用を以て適當とし、一千エーカーの經營費は、錫蘭にて一ヶ年六千磅、即ち我約六萬圓と計算さる。故に百エーカーの經營費は一ヶ月我約五百圓に當り、錫蘭地方の働動者約四十人と事務員を支給し

得るなり。去らば錫蘭に於ける一千エーカーの椰子樹より得べき椰肉の純益は、一ヶ年、六萬貳千圓を下らざるなり。

▲椰子の副産物 尙ほ椰子林業にて注意すべきは、椰肉以外の副産物あることなり。錫蘭産の椰子三百萬顆より得らるゝ刷毛材料たるべき纖維は約百八十七噸にて、蒲團材料たるべき其は約七百三十噸とす。其價、前者は一噸百貳拾圓、後者は參拾圓を通常とし、一千エーカーの椰子林副産物は四萬四千三百餘圓の額に達するなり。

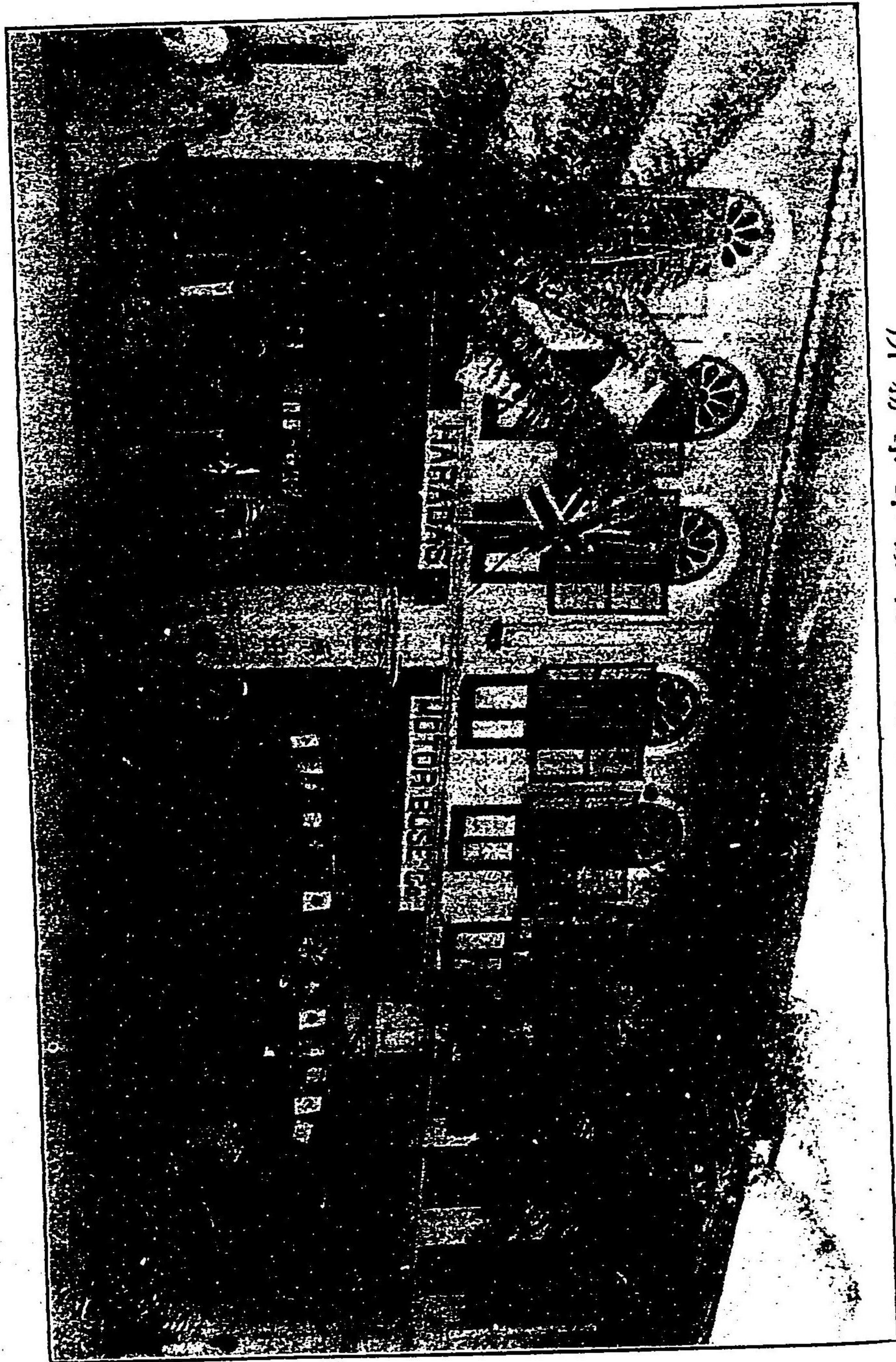
椰果は一種の機械にて、其外廓たる纖維皮を剥ぎ去らる。是れ椰肉の製造にも、副産の纖維素製造にも、缺くべからざる第一着手とす。然る後椰肉は更に硬樁を破つて乾燥され、纖維素は一定の期間外皮を泥水に放置して、其不要分を腐敗せしむる手段にて、精選され得るなり、錫蘭島に在る歐洲人の椰子林經營の單位は、一千エーカーを通常とするが如し。乃ち椰果分解機械の如きも、一日千顆を分解する迄に使用さるゝを得

て、日曜其他の公休日を除き、一ヶ年三百萬顆を分解す。其代價は据付費と併せて約壹萬圓と云へり。但し椰子副産の製造に就き、幾許の生産費を要する乎。余が調査の此に及ばざるは遺憾なり。

海峡殖民地に於ける實業家の斷片的談話に由れば、二十二呎距離に栽付られたる椰子樹の年齢十歳後の純益は、一年一樹一弗なりと謂ふも、其副産に就て未だ何等の説くを聞かず。是れ余の見聞の狭きに由るか、抑も斯業の未だ大に發達せざるに由るか。茲には姑く疑はしきを缺くこととせん。

第十一章 囑望さるゝ馬來半島北部

▲ケラントンの一般記事 ケラントンは、馬來半島東海岸の北緯四度四十五分と六度二十五分の間に在る王國にて、素と南隣のツリンガヌと共に暹羅の附庸たりき。千九



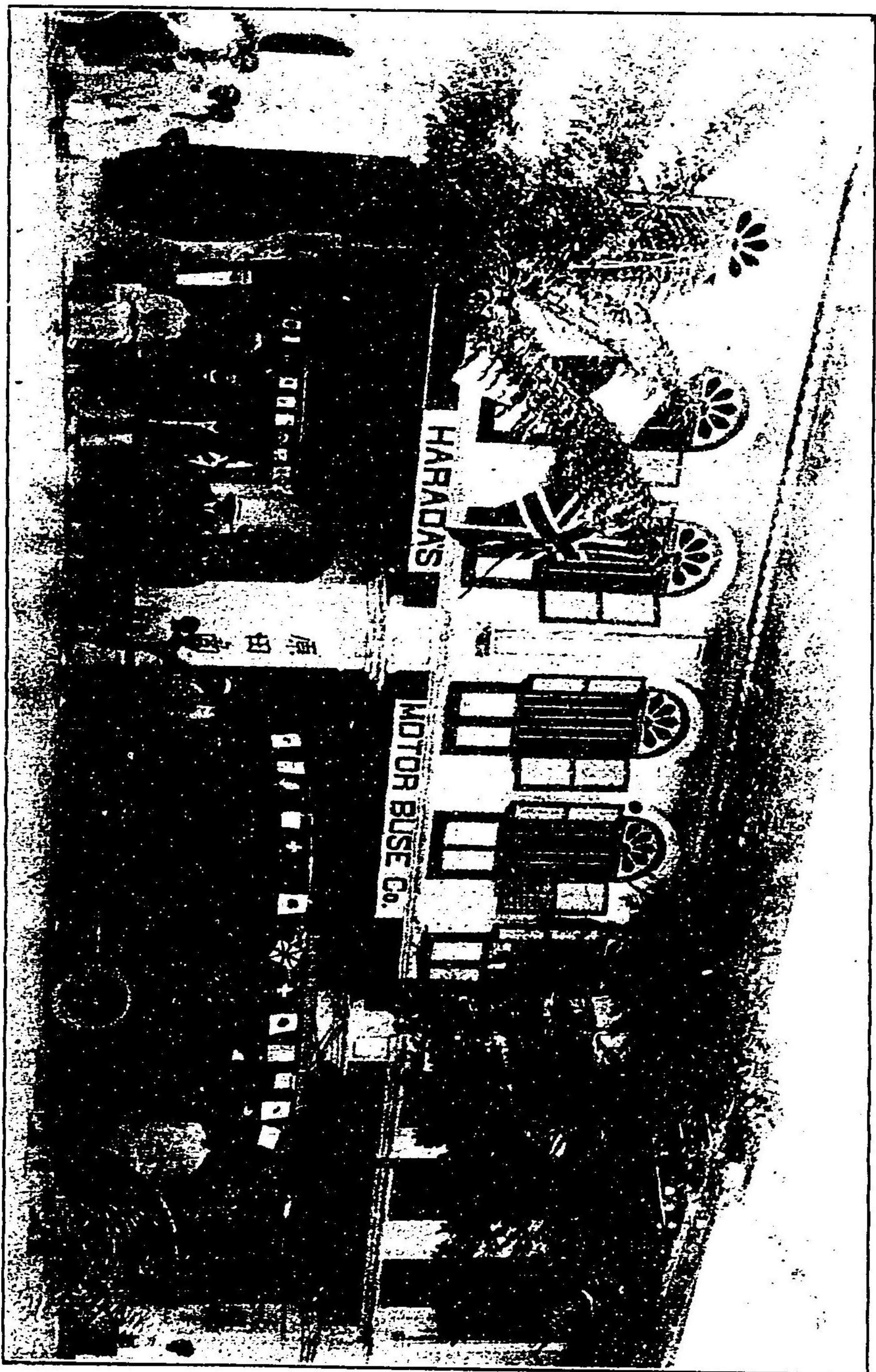
原三吉氏著の自傳的写真

て、日曜其他の公休日を除き、一ヶ年三百萬顆を分解す。其代價は据付費と并せて約壹萬圓と云へり。但し椰子副産の製造に就き、幾許の生産費を要する乎。余が調査の此に及ばざるは遺憾なり。

海峽殖民地に於ける實業家の斷片的談話に由れば、二十二呎距離に栽付られたる椰子樹の年齢十歳後の純益は、一年一樹一弗なりと謂ふも、其副産に就て未だ何等の説くを聞かず。是れ余の見聞の狭きに由るか、抑も斯業の未だ大に發達せざるに由るか。茲には姑く疑はしきを缺くこととせん。

第十一章 望望きる、馬來半島北部

▲ケランタンの一般記事 ケランタンは、馬來半島東海岸の北緯四度四十五分と六度二十五分の間サルタネートに在る王國にて、素と南隣のツリングヌと共に暹羅の附庸たりき。千九



三吉吉兵衛氏のケランタンのバス

百九年、英暹條約に由り、英國は暹羅に於ける治外法權を放棄し、暹羅は其報酬として、此等地方の宗主權を英國に讓與せり。方域は約五千五百哩にて、ケランタン河は約百五十哩を潤ほし、其八十哩は小艇ボートを上下せしめ得。十月より翌年一月迄を雨期とし、其他は乾燥期とす。雨期中の最低度は六十九度、乾燥期の最高温度は、原野にて九十度。國中を通じて、一年の雨量は百〇三吋。最乾燥期の二、三、四の三ヶ月の雨量は、毎月平均二吋なり。暹羅の如く、乾燥期中貯藏する天水を飲料とする必要なく、一般の氣候は最も衛生に適し、馬來半島中、馬來人の繁殖最も盛にて、純馬來人の二十五萬を有す。其他十萬の支那人あり、爪哇及びタミール人も近時漸く増加しつつあり。二艘の定期郵船は、新嘉坡とケランタン河口の間に毎週壹回の往復を常とするも、由來半島の東海岸は良灣に乏しきのみならず、十月より翌年二月の末に至る期間の海上は、頗る不穩なるを以て、商船の交通なし。是れ此地方の爲に最も惜むべき所なり。

去れど、其の氣候の溫和にして、物産の豊饒なる故に、其開發は一日も緩ふすべからずとて、其支丹政府に顧問たる英人メーソン氏は、熱心に鐵道敷設の急速にすべきを説き、馬來半島の他の被保護國の例に倣ひ、鐵道公債を發するも決して危険なしと主張し、其生産力を序列すること如下。

▲最良の牧畜地方 夫れ印度を経て馬來半島に來る歐洲人は、先づ半島の野菜に富めるに驚き、次に何故に牧場の絶無なるやを怪しまん。去れど、這は單に西海岸のみを觀たる結果にて、所謂ゆる楯の裡面に心付かざる者なり。彼等をして東海岸に遊び、一度ケランタンに踏込ましめば、直に牧畜業の西海岸に存在せざる理由を發見すべし。开は、ケランタンこそ、實に優秀なる原野を有し、其海岸の八百平方哩は高山深林なく、到る處に青々たる草色と牛蹄の印さるゝとを見ん。此地方の牛種は、安南に蓄殖せる黄色隆肩の其れにして、土人の拙劣なる牧畜法は、自然に牛種を劣等ならしめた

り。英國の其處に宗主權を得て以來、特別の注意は專ばら其改良に拂はれ、其指導の下に改良の行はれつゝあるを以て、半島並に新嘉坡が需要する全部を供給し得るに至るも、近き將來の事ならんと思はる。

▲地方の椰子栽培業 全國の耕作地は約十二萬四千二百エーカーにて、椰子林は約壹萬八千二百五十エーカーなり。凡そ海岸に沿へる平原は最も椰子樹に適せるが故に、此方面の椰子が、馬來半島の孰れの産出せる其れよりも優等なるとは、昨年末、新嘉坡に開かれたる農林展覽會にて、隨一と品評されたるにて明かにして、或は錫蘭島産と優に比肩するを得ん。馬來聯邦の本部たるスランゴール、ネグリスミラン、パハン三州の椰子林は、合計六萬四千エーカーと稱され、昨年度の椰肉輸出高は三萬四千五百零五ピョルと公報されり。然るにケランタンは、其三分二にも足らざる一萬八千エーカーの椰子林より、六萬三千二百零四ピョルを輸出せしを以て、誠に半島隨

一の品評に背かざる良好の椰果を産出し得ることを證據したり。
 是を以て、此地方に椰子林を創設せんと計畫せる者漸く多きを加へ、昨年中に通計十五件、其地域三萬四千七百エーカーの林業豫定貸下出願を受付け、其内一萬二千四百十エーカーは、昨年中に測地を終へ許可したり。

▲富は顯處に在り ケランタンの輸出入は年一年に増加し、其公共事業も随つて進歩しつゝあり。新規の大道は開築され、内地郵便電信の制度も完成に近けり。其牧畜業は、素より土人に經營され來り、政府の指導を待つて改良されざるべからざると勿論なるが故に、政府は近年、濠州羊を輸入し、其繁殖を獎勵しつゝあり。馬來半島の他地方と同じく、錫鑛の存在は到處に認めらる。其他、石油の存在せる徵證なきに非ず。唯だ憾むべきは、ケランタンの開發を以て自から任せるダフ開拓會社の全力が金鑛採掘に盡さるゝも、其成績の年々退却せる事なり。要するに、ケランタンの富は

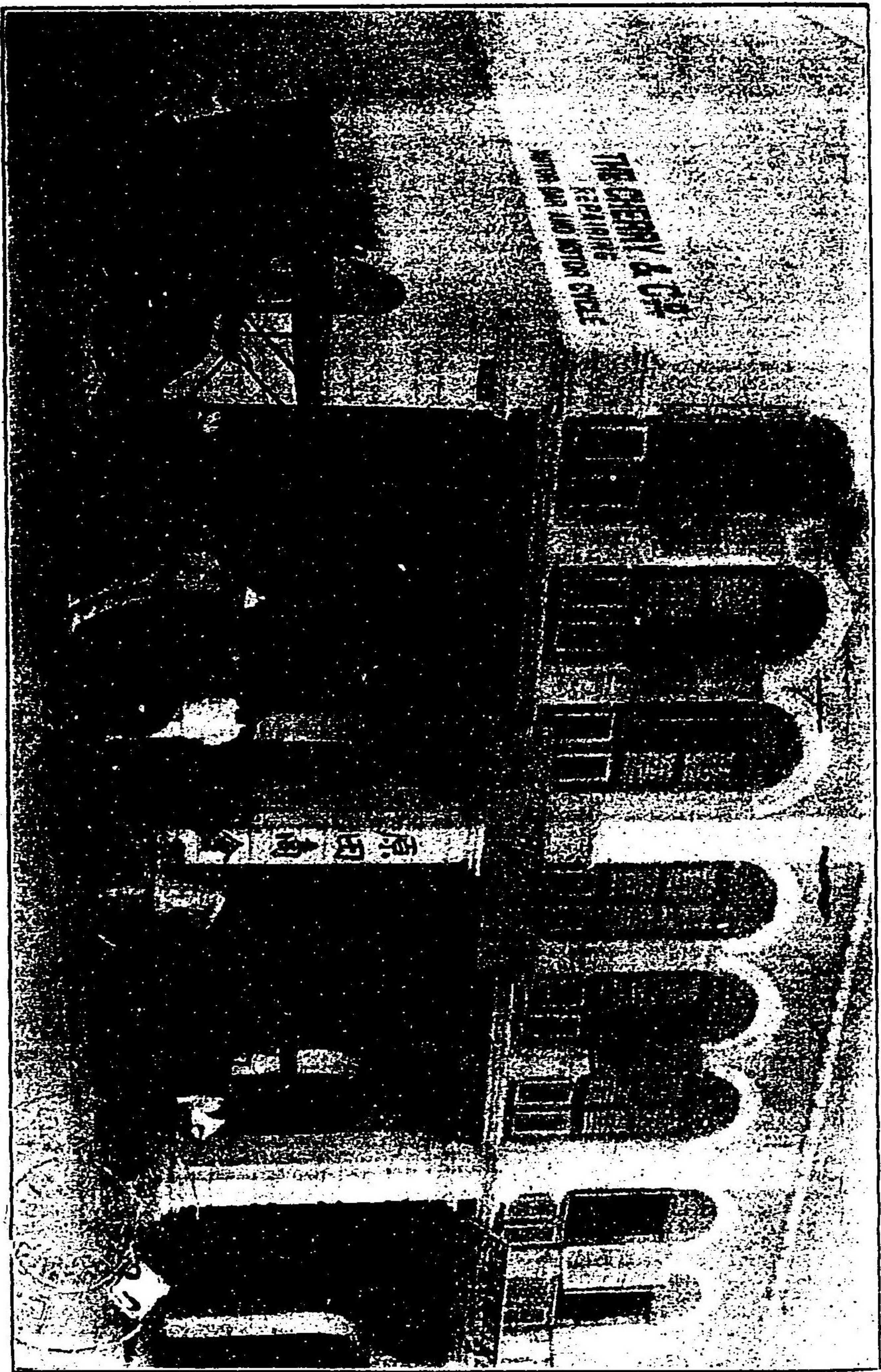
隠れたる所に求めんよりも、寧ろ顯はれたる所に得易しとせん。

▲ツリンガヌ州 ケランタンの南隣ツリンガヌも、亦た地勢風土氣候の悉く前者と同一にして、牧畜並に椰子栽培に適し、歐州人にて一ヶ所に二萬エーカーの椰子林を有する者さへあり。日本人にて、英國の主權が未だ此地方に及ばざりし時代、其領主の侍醫兼顧問として聘されたる近藤常治氏は、今や傍ら林業家として椰子栽培に従事し約二千エーカーの地積を經營しつゝありと云ふ。此地方の椰子果も亦たケランタンの其れと同一の良品にて、馬來半島の他に冠絶せり。ケランタンと與に、交通の便ならざる地方なるより、拓殖の遅々として進歩せざるも、土地拂下の頗る便且つ廉にして、遠人の拓殖に汲々たる意あるが故に、産業の發達は今や唯だ時間の問題のみ。故に若し長久の計を盡し、塾實に其林業を經營せんと欲せば、此地方も亦た我日本人の當さに三顧すべき所ならんと思はる。況や、其土情の衛生的なると、半島中に其比稀

なりと謂はず乎。是れ護謨林や椰子林の經營の如き、労働者の健康を閑却すべからざる事業の當事者が當さに注意すべき所たらずんばならず。

第十二章 蘭領ロツバム島

▲リョー群島の記事 馬來人の地理談中に曰く「リョー、ブラウバリ、サトガンタン」と。譯せば「リョー群島の無數なると楨にて量るが如し」と云へるなり。本年三月、パタピヤ總督の追放したるリョー支丹の舊領は、斯くも無數の島嶼を一括し、スマトラ島の東海上、馬來半島の南海上に基布し、實にマラッカ海峡の東關を控制せる要地たるのみならず、風光の明媚なると其比稀なり。先年、露國バルチック艦隊の東航するや、其寄泊或は供水に關する物議の生せしともありしと聞く。开は措き、其の衰爾たる島嶼たるに拘らず、氣候の快適に加へ良好なる椰子果の産地たるが故に、土人は概ね漁

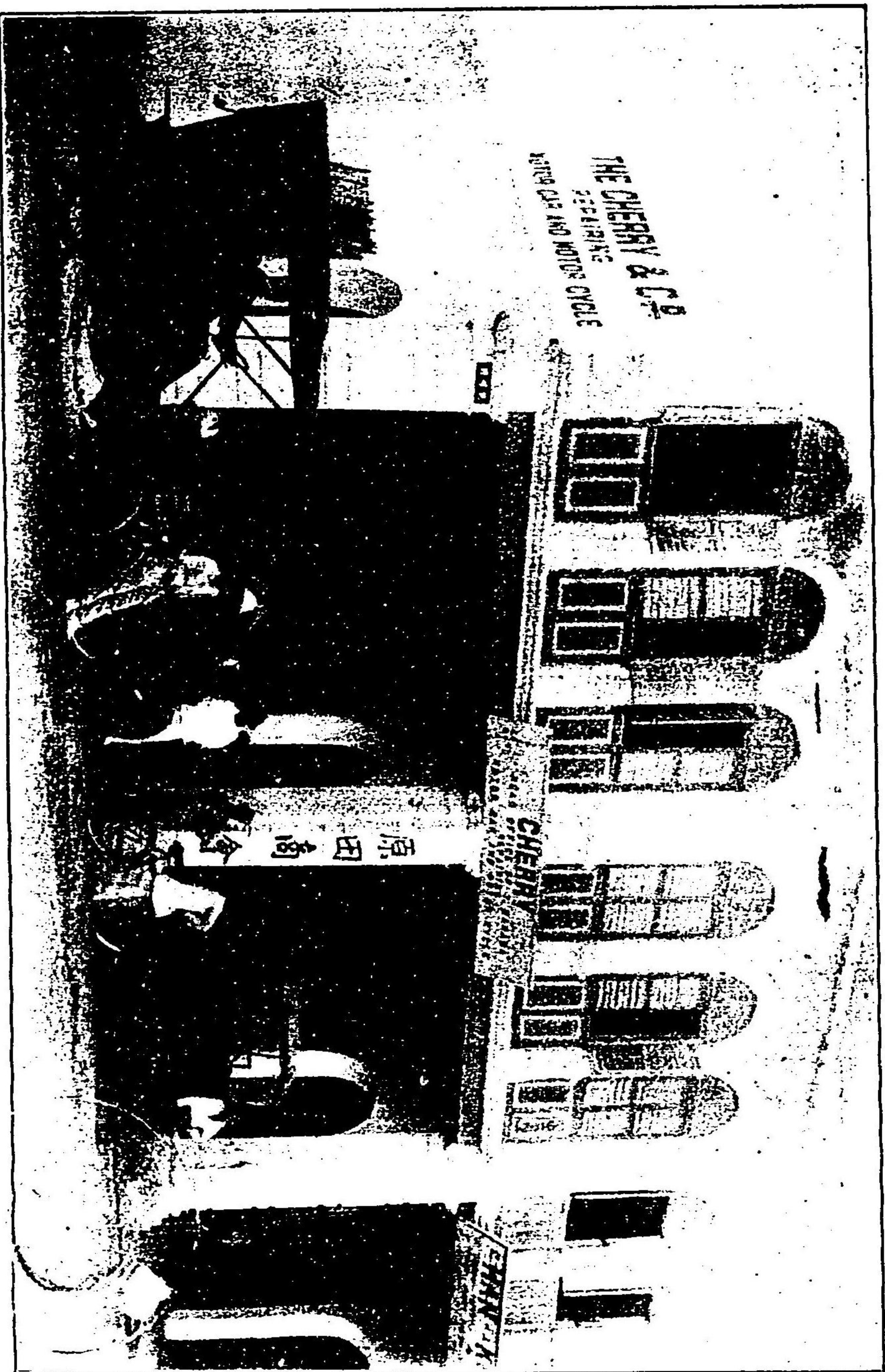


(ロツバム島の街並み) 蘭領ロツバム島の街並み

なりと謂はず乎。是れ護謨林や椰子林の經營の如き、労働者の健康を閑却すべからざる事業の當事者が當さに注意すべき所たらずんばならず。

第十二章 蘭領ロツバム島

▲リヨ一群島の記事 馬來人の地理談中に曰く「リヨ一、ブラウバリ、サトガンタン」と。譯せば「リヨ一群島の無數なると楨にて量るが如し」と云へるなり。本年三月、バタバヤ總督の追放したるリヨ一支丹の舊領は、斯くも無數の島嶼を一括し、スマトラ島の東海上、馬來半島の南海上に基布し、實にマラッカ海峡の東關を控制せる要地たるのみならず、風光の明媚なると其比稀なり。先年、露國バルチック艦隊の東航するや、其寄泊或は供水に關する物議の生ぜしともありしと聞く。开は措き、其の叢爾たる島嶼たるに拘らず、氣候の快適に加へ良好なる椰子果の産地たるが故に、土人は概ね漁



（ロツバム島） 露國領内に非ずば 支丹領内

業と椰子に衣食しつゝある状態なり。新嘉坡を去ると、近きは十四五哩、遠きも三十哩を超へずして、其漁獲の新嘉坡に霑ぐ外なきが故、交通の頻繁なると此上もなき便利を與ふ。政治的に云へば、蘭領と謂はざるべからざるも、事業家の觀る所にては、新嘉坡の手の届かざるべからざる所とす。

▲ロツバム島の貸下　バタビヤ總督府が、其封疆内に於て土地國有主義を固執し、私有地と雖も、勝手次第に、土人以外の何人にも貸付けしめざるに拘らず、リョー群島の一を得て、椰樹栽培の利を味はんと熱望する日本人の多かりしも、其政府が要求する資格の繁縟なるに堪へず、中途に放棄する者殆ど皆な是なりしも、獨り新嘉坡の醫師西村氏が買取を約せしロツバム島の地上権のみ、バタビヤ政府の承認する所となり、本年七月以降自由に其開拓に着手すべく許されたり。這は馬來半島に行はるゝ英人の開發政策が、萬事を簡捷にし、出來可く丈け遠人を招徠せんと努むると相比して、蘭

人の閉退的態度と、其土地貸下の如何に煩はしきかを示す物語の一ならん。

▲蘭人の心も亦勞せり　ロツバム島は、新嘉坡を距る約三十海里の海上に在つて、周圍約七哩、西方は奇巖の濤と相扼して殆ど近付く可からざるも、東南北の三面は、水面より抜くと僅に十呎にも及ばざる低地の甚だ廣く、波狀に起伏しつゝ漸く西方なる高地に接續し、絶好なる椰樹栽培區の三に對する遊覽區の一とも謂ふべき林業家の理想地なり。土人の數は約七十人にして、西方に部落を構へり。素と此島の長たるイスマユルの名の土人祖先以來、リョー支丹より借地せしを、南洋に林業の漸くに景氣付き初めし三年前、西村氏の彼と相識れる關係は、不圖、其借地權を氏に轉ずる約束を生み出したり。去れど、此の轉權を正當に成立せしめんには、リョー支丹の許諾の外、パタビヤ總督の認可を経るを必要とするのみならず、氏の蘭領に住居の資格を立證する等の面倒を濟さざるべからざりしが、兎に角手續は逐次に行はれたり。然るに、本

年三月、リョー革命の唐突に起れるあり。當時の蘭人は狼狽より錯亂に轉じ、頗る東方強國の野心が此方面に向ひつゝ、あらずやと疑懼せざるものあらざりし。之が爲め、ロツバム島の貸下の、一時は如何に成り終らんかと氣遣れしも、風聲鶴唳に驚かされたる彼等の探査の頗ぶる行届きたりけん。日本ビークなる島内の土人に、種々様々の下馬評題を與へたる間もなく、蘭文の一章は「開拓無差支」と西村氏に認可したり。蓋しイスマヘルと氏との交渉は措き、願書提出より認可に至る迄が、一年九ヶ月の長きに涉りしを馬來地方の此手續が、月を踰へずして辨せらるゝに比せば、三尺の童子も彼此の難易を異にせるに驚かん。

▲蘭領林業の嚆矢　ロツバム島に於ける氏の椰子林豫定地は約二千エーカーにて、今や其東隅より除々に蠶食的拓殖の行はるゝを見る。這は是れ邦人の、新嘉坡を中心として、蘭領南洋の椰子栽培に手を染むるの嚆矢なり。

下篇 南洋に於ける各國人

第一章 南洋の英人と馬來人

▲世界の入會場 初め英人の香港を略取するや。其山は禿に、而も瘴氣充ち、死者の相踵ぎしも、彼等は銳意之が克服を策し、秩序ある經營を遂行し、遂に其の今日あるを致せり。彼等は曰く「英人の精力と資本とは至難に克つ」と。況や馬來半島の地は肥へ水は沸き、香港の礪確なるに似ず、香港にて至難に遭逢せし英人の、或は顧みて新嘉坡の居り易きに戀々せし者の少なからざりし程なるを乎。物産の饒多なる此地方は天與の寶庫なり。去れど、東洋と均しく、南洋が勞銀の低廉にして、且つ熱陽の直下に在るが故、英人も其他の歐洲人も資本こそ投ずれ、其勞働者を移して此地方に勞作せ

ペラ州の名望家



三笠眞館主
山田豊三郎氏

朝日商會主
小堀三郎氏

しめ能はざるなり。馬來種族の繁衍する地方は、如何に英人が精力主義なるも、資本の饒多なるも、亞細亞人に依頼せずして、其事業の車輪を回轉せんと殆ど想ひも依らざる事に屬す。實に南洋こそ、世界の入り會ひ場とも謂ふべく、東西南北の各方人が、其特長を挾んで此土に競争に従事するを妨げず。請ふ、先づ本來の主公たる馬來人に就て少しく説く所あらん。

▲馬來の家庭教育 英人の新嘉坡にて兒を擧ぐる者、時としては、之を馬來の婢に托するとあり。馬來傳來の習慣は、其小兒の身體に傷害せざる限りは、何事も其の言ふが儘、又た其の爲すが儘に任せ、善惡を區別して、善に就き惡を去らしむる教もなく、叱責なく獎勵なきと、恰も他の動物を畜養すると一般なり。故に馬來の婢女に托して生長せしめたる兒童の、均しく是れ白人なるも、他に比して自制力を欠き、少しく意の如からざるに逢へば、忽ち其氣魄の脆薄を現はすを常とす。是れ英人の南洋にて家

庭教育を談ずる者の定説なり。去らば、馬來の家庭に育ちたる馬來人は、何の敵もなく、唯だ其身體髮膚を毀傷せざるに始まつて、毀傷せざるに老死するを樂しむ者と謂つて可ならん。彼等の不規不律なる習癖は、生長するに従ひ、愈々第二の天性を成し萬事を放擲し、遊逸の中に、熱帯が彼等に生ずる所の天然的衣食に満足し、醉生して夢死するを人生の歸趣と考ふ。是れ亦た自然の勢なり。

▲英人の馬來教育 英人が馬來兒童を教育し、其思想を英化して後、之を有用に指使せんと企つるも、殆ど所謂ゆる糠に釘打つを傍觀するの感あり。ジョホール州内の學校數は三十九にて、其中の二個は英語學校なり。其のジョホールバールに在るものは、百二十一の生徒を有し、他の一はムアーに在つて、百四十の生徒を有す。海峽殖民地のマラツカには、馬來カールレッヂありて小學教員養成の本部たり。馬來聯邦四州の教育費、一昨年は三十一萬百十二弗、昨年は三十一萬九千四十一弗にて、英語部の

生徒、男は三千三百八十四人、女は九百二十四人、馬來部の生徒、男一萬四千七百九十八人、女千八百四十六人と報せらる。

▲教育甲斐なき馬來 此の教育されたる馬來の新人が、社會に立つて能くする所は何ぞ乎。馬來教育に従事せる英人は、彼等が學校に在つては、前途多望の少年たり少女たりしを語ると同時に、彼等の社會に出づるや、全く見込み違の者となり了はるを常とするに驚けるが如し。去れど、這は驚くに足らざる所に驚く者にて、所謂ゆる民族の根性骨なるものは、太古以來、彼等の祖先が經慣れたる記録の彼等に傳はれるを思はざるに坐するのみ。馬來人にして、若し一朝一夕に注入されたる教育に由つて、忽ち歐洲人と接踵比隆する程の活動を日常生活に現はすと、恰も日本人の如きを期待され得る人種ならば、則ち彼等が其郷土を擧げて世界の入會場とし、恬として顧みざる今日あるの理なきに非ず乎。是れ知る、眞に馬來人の變造を成就せんとする者は、須

らく先づ彼等の根性骨に於てせざる可らざるを。蓋し這は至難の事業にして、數世紀の久しきに涉り、世界人類の競争が、南洋社會に及ぼすべき外界の壓迫と共作して後、始めて成るを得ん。現状に就て謂へば、彼等は飢へて稼ぎ、飽けば休するを法則とするの人衆なり。如何に其の南洋本來の主公たるにせよ、其土の拓殖に於て、畢竟何等の交渉かあらん。

第二章 爪哇人及び印度人

▲馬來半島の勢力需要 南洋地方に於て、人口に溢るゝは、唯一の爪哇あるのみ。爪哇人の性質は温順にして手工に巧みなり。労働者として、彼等はストライキの何物たるを知らず。且つ其生活程度の頗る低く、爪哇に於ける勞銀は、馬來半島の其れに比して、三割乃至四割の下に在るが故に、馬來半島に移らんとは、彼等の最も好む所にし

て、又た最も歓迎さるゝ所なり。五六年前、馬來半島の拓殖が漸く其歩を進め、勢力の需要の急迫を告げしに方り、起業家たる英人側は、バタビヤ總督府に交渉し、其承認を得て、其地の労働者を輸入し始め、千九百八年、蘭領印度労働者使用條例は、遂に海峽殖民地政府の法律として發布されたり。此法律には馬來半島の開拓に必要な労働者として、農林業及び其産物採收、道路建築及び修繕、溝渠建築及び修繕、鐵道建築及び修繕及び其作業、公益を目的とせる公共事業の作業、石割及び石堤建築、煉瓦製造、鑛山の作業を列擧せるのみならず。馬來半島は勿論、英國權力の及べる南洋地方の契約労働に普通なる慣例は、殆ど網羅し盡せるを以て、此に其要領を録し、南洋労働者の一般待遇の如何を知るの便に供せん。

▲英領の労働者待遇例 一、労働者の年齢は十五歳以上とす。二、一日の労働時間は九時間に制限さる。三、労働日數九百日以上に亘る契約を禁ず。蓋し這は寧ろ奴隸制

度に近きが爲ならん。四、契約書には、給料の仕拂方並に食料の供給に関する條件を記載すべし。五、自分の過失に因らざる疾病にて、契約せる労働日数の十分一以内の缺勤中は、普通の食料と勞銀の半額を受くるは労働者の権利なり。六、労働日数三百日以内を約束せる場合は二ヶ年以上——又た六百日以内の場合は三ヶ年以上——又た六百日以上の場合は四ヶ年以上——如何なる事情あるも、其労働を繼續すべく労働者を強制す可らず。七、雇主が労働者に労働作業を授けざる場合は、食料及び給料を支辨すべし。八、六時間以上休息なく労働せしむ可らず。又た一週に六日以上労働せしむ可らず。九、雇主は労働者及び其家族に適當なる屋舎、飲料、衛生設備、病院、醫師、良好の藥品の定量を供給すべく。其適當と否とは、労働監督官の決定に由る。十、指定されたる不健康地に労働者を引入る可らず。十一、雇主は勘定書を各労働者に交附す可し。十二、労働者は、何時にても、監督官に雇主の取扱に就き申告し得。十三、労働者並

に其家族の意思に反し、彼等を別居せしむ可らず。

▲爪哇人來らず 英國側が爪哇労働者を招徠すると頗る熱心なるに拘らず、幾もなくして、バタビヤ總督府は、馬來半島が爪哇労働者を吸集して、爪哇に於ける勞銀の昂騰を結果するを發見し、這は爪哇産業を萎靡せしむると甚だしければとて、曩きの承認を撤回し、可成丈け其管内の労働者を外出せしめざらんと用心するに至りたれば、折角の條例も今や全く空文に歸し、唯だ其旅費を自辨し得る爪哇人の、自由労働者として、來航するのみとなれり。蓋し爪哇人も亦た馬來の支族たり。去れど、其の久しく和蘭陀人の虐使に訓練され、馬來半島の同族に比し規律ある労働に耐へ、且つ氣候の變化に惱まざるが爲め、馬來半島に取つては、理想的の労働者たるに相違なきも、其供給の斯くして杜絶せしと、馬來半島の爲めには頗る遺憾の事どもなり。

▲恃むは印度人 去れど、馬來半島の位地は、西に印度あり、北に支那あり。此等の

地方が人口に富み、且つ彼等の招徠し易きを以て、爪哇なしと雖も、猶ほ甚だしき苦痛を感ずるに至らず。特に印度の事態が馬來半島と一般、俱に英人の意の儘に取扱はるゝこと、パタビヤ總督府下なる爪哇に異なれるの便あり。是が爲め、印度タミール地方の勞働者は、爪哇勞働者の輸入が計畫さるゝより以前、既に業に輸入されつゝありしが。後者の輸入が杜絶するや、英人側の全力は専ら前者の招徠に注がるゝに至りぬ。

▲タミール勞働者 南洋の立關たる新嘉坡に上陸する者は、必ず爲黒瘡型の勞働者が、唯だ其頭と腰のみを白布にて纏ひ、徒跣にて其街衢を往來せるを見る。是れ馬來半島にてタミールと通稱さるゝ西方印度の勞働者とす。其の黒膚にして、一見、奇怪なる感を吾人に與ふるに似ず、性質の溫柔なると殆ど世界に比類なからんと思はる。英國が印度に勢力を扶植せる以來、其の東洋殖民地の雜役に供する勞働者を、特にタミール

ル地方より連れ來れるも尤もなり。但、彼等の勞働振りは遲鈍にして些の活氣なく、日本人より之を見れば、恰かも小兒の戯れかとも思はれん。去れど、彼等の活氣なき所以は、正に其の抵抗せず、罷業せず、凡そ主長の命する所には、唯々として服従する所以なりとせば、其の勞銀の低廉なると、馬來半島に於て、支那勞働者の要求する十分の六に止まると併考して、最も重寶なる勞力たり。

二三年來、馬來半島の護謨林の採液期に達せるもの漸次に多きを加ふるに従ひ、勞働者の需要益々急切を訴へ、從來、聯邦の各錫鑛に勞働しつゝありし支那人の誘拐さるると同時に、タミール勞働者の誘拐も流行し、有ゆる弊害の經驗されたる果、林業者の組合は同盟して勞働者の誘拐を禁遏せんを企て、海峡殖民地も馬來聯邦政府も、其土木事業を遂行する爲めには、林業者と同じくタミール勞働者の雇主たりとて、林業者の運動に加はり、遂にタミール輸入に關する一個の制度を協定し、大々的に其輸入

を計書せし結果、昨年の輸入は五萬八千餘人の多きに達し、其十二月の調査に由れば馬來聯邦の林業地に使用さるゝ労働者の現在數、爪哇及び馬來人二萬三千八百八十人、支那人四萬二十六人に對し、タミール労働者は九萬四千九百八十一人と報せらるゝに至れり。這是唯だペラ、スランゴール、チグリスミラン及びバハンの四州にのみ限れる計數にて、海峽殖民地は與からず。既にして本年三月、數年前輸入されたるタミールの數千が其勞役を終り、スウキデンハム港を發して其故郷に歸るや。馬來半島地方の林業者は、彼等労働者の歸國が、將來の労働者の増減に就き如何に影響するやを慮んばかり、一喜一憂の状態に在りしも、忽ち西方よりの勞力は潮の如く流入し、本年七月、既に昨年輸入せし數を越ゆるの盛況を報じたり。此勢を以てせば、タミール労働者は年一年に其數を加へ、將來馬來半島の林業地に勞役する幹部と目さるゝに至るや明なりとす。

▲チツテ—タミール労働者と全く相反せる方面にて、新嘉坡や其他の南洋地方に有用と目さるゝ印度人あり。彼等が印度の何處の方面より來れるか這是措き、吾人をしつて常にマコレー卿がベンガル人を評し「高利貸として最も適當なり」とせし所以を想ひ起さしむるは、彼等の新嘉坡に於ける職業なり。彼等の南洋に於けるは、恰も猶太人の歐米に於けるが如し。普通にチツテ（金貸）と呼做されて、名を呼ばれず。其貌裝は宛然、生ける五百羅漢の如し。彼等の金は方外の高利に貸付けらるゝも、猶ほ之を借るの商人あり。金融の急迫するに方つては、歐洲人も彼等に屈し、米國人も彼に屈し、支那人も亦た屈す。況や日本人を乎。前年、日露戦争の餘響は、不思議にも、彼等の割切なる判斷力をさへ誤らしめ、新嘉坡なる日本賤業者を信用し、無擔保無保證にて、一口數千金の貸付の流行せしが、無頓着なる債務者の如何んぞ之が償却を潔くするものあらん。數月の後、彼等は日本の威名の頗ぶる高く買冠ぶられたるを教

く、新嘉坡にては地主たり家主たる者多し。其祖先傳來の慍悍なる性質は、マホメツの教に由て如何に彫琢されたるやを知らずと雖も。何處となく、奮闘的蠻氣の眉宇の間に存する様見受けらる。請ふ、少しく彼等の崇信せるマホメツの教に就き聞く所を記せん。

▲モハマツド 世は、彼等をマホメツト信徒と呼ぶも、彼等は其誤謬を指摘して曰く「マホメツトとは頌徳する人との意にして、我宗教と何等の關係なし。這は本來のムハマツドと云へるを、英國人が誤まり傳へたるなり。ムハマツドとは、何人にも頌徳され感嘆さるゝ人の意にして、即ち我宗教の使徒其人なり」と。彼等の宗教の正名はイスラムにて、清淨無垢と平和とを尙ふなり。彼等はムハマツドを頌徳し且つ感嘆するも、彼は神の使たるなり。故に彼等の禮拜は、唯だ一の神に向けらるゝのみにて、ムハマツドに向くるに非ず。故に基督教徒の所謂ゆる三位一體の説の如きは、彼等の甚だ怪

訝し且つ惡む所なり。彼等の嚴守する教式は禮拜にて、毎日五度の禮拜あり。金曜日
は彼の最も尊重する禮拜日にて、皆な其寺院に禮拜すべく參詣す。其寺院は何等の設
備もなく、眞の空堂にて、如何なる貴人も履を脱げと命せらる。這は是れ其の聖域な
るが故ならん。何れの宗教にも門牆に立つ者あり、堂に上れる者あり、室に入れる者
あり、教祖と共に食ふ者あり。故に其教を論せんと欲せば、須らく教祖を見るを要す。
那の禮拜の如きは事の末なり。曰く平和、曰く清淨無垢、是れムハマッドの傳ふる所。
能く之を解する者は、其禮拜中、不用意の間に無位の眞人の在所を認め得ん。

▲メツカ巡禮 イスラム教は自己の年月を有す。其信徒は畢生の希望を擧げてメツカ
參詣に集中せり。支那よりも、中央亞細亞よりも、南洋よりも、阿弗利加よりも、彼
等の曆のゼルハイジャ(本年は陽曆十一月)の九日、メツカより駝背にて約二日、驢背
にて約一日程のアラファの地に相會す。此處こそ、彼等信徒の、知るも識らぬも、兄

弟姉妹たるべき逢坂の關たるなり。此處より相率ひて教祖の墓に參詣する者こそ思無
邪なり、清淨にして無垢なるなり。メツカ巡禮の意は、異方殊域の同教者を統一結合
し永く相離れざらしめんとの宗教的帝國主義に緣起せるに非ず乎。凡そ巡禮せんとす
れば、先づ不在中、其妻孥を衣食せしむべき餘裕を備ふると第一なり、自己の債務一
切を償却し濟すべきと第二なり。若し豊裕の生活状態に在つて、其妻孥を携ふとを得
べければ、勿論之を携へて巡禮すべしとなり。南洋の信徒は、或は蘭領印度より、或
は、新嘉坡地方より、アラビヤなるジュタ港に航し、此處よりアラファに進み、四方
より雲集する同教同胞の兄弟に會す。巡禮を終へて歸郷せば、郷黨は彼をハジと尊稱
す。ハジは其社界の長老にして、凡そ何事にも彼等社界に指揮者の位地を占む。即ち
小なるムハマッドなり。彼の聲こそ律となり、彼の身こそ法たりと崇がめらるゝも、
亦た榮ならず乎。

其れも其の等！世に其妻子を愛養し、其の債務を償済するに非ざれば、教祖の墓に参詣するも無益なりとの理想を活現する者、熱誠に溢る、此巡禮者を外にして果して幾人かある？

第三章 支 那 人

▲無を有に化する支那人 新嘉坡の米國領事は、支那人を評する毎に輒ち曰く「馬來半島は世界が必要せる錫の過半を給す。而して之を採掘する者は支那人なり。支那人の本國より新嘉坡に來るや、單褐の外身に纏ふなく、天地を寢衾とするの堅忍と、竹頭木屑を蓄ふるの勤儉とを唯一の資本として、此競争の壇上に現はれ出づ。彼等の採掘せる錫は、遠く亞米利加に輸出され、其製造所にて鐵葉に塗抹され、所謂ゆる弑力の罐と化し、再び新嘉坡に歸來す。新嘉坡にて、其廢罐を買集むるは支那人なり。彼

等は、此等の廢罐より、新たに或る種の日用品を製するを以て満足せず。其罐屑をも集めて、之を其の同胞なる齒科醫に齎らすなり。支那の齒科醫は乃ち之を以て銀色の義齒を製するが故に、凡そ天地の間、苟くも支那人の在る所に廢物なし。廢物の利用に巧みなる支那人の、争でか世界の廢物として劣敗すべき理あらんや。蓋し無は有を生せずとは世界の論理なり。去れど、若し世に無より有を生ずることを發明せんと欲する好事者あれば、余は赤裸々の支那人が南洋の富豪と爲りたる例の許多を擧げて、之に倣へと告げんのみ」と。實に支那人の勤勉なるや、世界に其比なきと、彼等が、熱陽の直下に營々として働き孜孜として稼ぐの狀にて立證さるゝなり。

▲支那人南展の回顧 廣東、福建、海南の支那人が、始めて南洋に來りしは何の代なりし乎。海峽殖民地なるマラツカの某所には、隋氏時代の支那碑の存するありと傳ふ。日本が小野妹子を隋に遣はせし頃、彼等は既に南洋に侵入したりし者と思はる。宋太

宗の侵略的弓矢は、馬來半島に及ばざりしが如し。去れど、此英雄の南征北伐的氣風は、南方の支那人をして、南洋に小英雄として、海に賊、山に盜たらしめたるや明なり、且つ吾人にして、若しイスラム教が支那南方に傳へられたる事情を研究するの閑あらしめば、彼等と南洋との交通が、如何にして成されしかの一層光彩ある史實を語り得るを確信すと雖も、并は本書の領域に非ず。元の宋を滅ぼし、清の明を滅ぼせしは、皆な南人が北人に壓迫されたるを語る。而して此等壓迫の毎度、南人の益々南進して自由の天地を求めしや固よりとす。十九世紀の中葉、英人ゼームス、ブルークが、ボルネオ島のサラワクに據らんとするや。時方に、支那海賊の此方面に於ける最終期に近づきけん。端なくも劇闘は彼等の間に相挑まれ、最も慘酷なる奮戦の數年に亘りしとは、今猶ほサラワク人の口碑に存せり。文明的交通の開けたる今日にても、海南島の支那人中には、猶ほ其戎克ジャンクに乗じて沿岸を航しつゝ、新嘉坡に往復する者の稀に

見らるゝに非ず乎。

▲是れ怪むに足らず 歐洲人の最も先づ南洋に侵入せしは、葡萄牙人にして、馬來半島の西岸マラッカは、彼等の根據地たりしなり。既にして和蘭陀人至り、英人も亦た至れり。彼等歐洲人の一盛一衰せる間、支那人の跋扈區域は漸く縮少され、其の市に在る者は商賈たらざるべからざるに至り、山に籠れる者は鑛夫たらざるべからざるに至り、強梁なる海賊は殲滅され了んぬ。人或は、朱明時代に南洋に發展せし支那勢力が、何故に政治的に萎靡し了りしと今日の如きかを怪しむと雖も、精透に觀察せば、其の國家組織は下等動物の體軀と同様に、中央と地方、殆ど相關せざるが如き構成の下に在り。争かでか歐洲人の堅艦利兵に伴なへる秩序ある氣力に壓服され了らざるの理やあらん。今日すら其の中華と誇稱せる支那本部其の物が政治的に削奪されつゝあるを措き、彼等の南洋發展が徒らに社會的に成功して、政治的に敗れしを怪しむこそ、

畢竟、怪しむに足らざるを怪しむ者とせん。況んや、清朝の朱明に代りたる革命に對せる南洋支那人の感慨は、寧ろ敢愾的にして、同情的に非らず、即ち今猶ほ其の餘燼の到る處に存せるを乎。彼等の地圖を展べて支那本部を一覽するや。往々にして「國亡びて山河在り」の詩想を喚起し、南洋の客地に集めたる財力に據り、北進して滿洲朝を境外に驅逐せんとして、乃ち孫文、黃興等の革命運動と相唱和す。是れ南洋を把持せんよりは、北方に政治せんとの傳來的思潮の發現せるなり。孔子曰く「苛政は虎よりも猛けし」と。フランクリン曰く「自由の在る所は是れ我郷」と。是れ其の語の異なるも、其の意の相符合せるものなり。彼等は滿洲朝廷の政治を苛政と思ひ做し、歐洲人の權力範圍内に生活し、生命財産の尊重さるゝを以て自由を享受せりと爲し、南洋に客たるの久しき丈、夫れ丈、其の所謂ゆる中華の制度を改革するの思想を養成したり。随つて其の激越なる者は、心を孫文等に傾倒し、革命的快舉に殉したる徒の靈

を慰むるに黨君の尊稱を以てし、其の激越ならざる者は、保皇主義に歸依せり。要するに、支那人の南洋に於けるは、其の政治の發展に非ず、其の社會の發展なり。其の社會の發展が竟に如何なる者を結果すべき乎。百年は大計を建つるに足らず、千年も或は猶ほ短からん。國家の壞崩するとあるも、人種の愈よ益す繁昌する例なきに非らず。支那は舊邦と雖も其の命は維れ新なり。南洋豈に萬年の英人あらん哉。

▲支那漸く覺醒す 十餘年來、孫逸仙、康有爲の徒が、説の異同は措き、南方支那人に與へたる刺激の甚だしきより、北京朝廷も亦た無爲自尊を是れ事として、其の社稷の保たれざるべきを曉り、康を追放し、孫の首を懸賞に附しつゝも、猶ほ彼等の思想の容れ得らるゝ限りを容れ、自から改むると同時に、在外臣民の國家觀念を涵養せんと試むるに至り、和蘭陀政府に交渉し、蘭領南洋に領事を駐在せしめ、及び新嘉坡の領事をして教育を奨勵せしむる等、其の臣民の流れて夷狄に化し去るを防止せしむるに汲

汲たり。此運動は遠く緬甸地方にも及び、ラングーンの支那有志者は、該地方に頗る衆多なる支那兒童が、其の両親の無頓着より、悉くビルマの學校に託せらるゝの將來を推想し、且つ該地方なるマホメットの信徒が自己の學校を有し、其の兒童を他に託せざる例を引き、彼等が其の宗教保衛に熱心なるに鑑み、支那人たる者も亦た、少なくとも、其の國語を永久に保存することに努めざるべからざるを論じ、其の富者の義金に頼つて學校建設を首唱したり。是れ本年五六月の交なりと覺ゆ。ラングーンすら既に然り。馬來半島、特に新嘉坡、彼南の如き大市にては、數年前より堂々たる校舎の築かれたるあり。

▲圖書俱樂部 其の本來の迷夢の覺醒は、種々の形式にて南洋支那人の間に現はれ來りつゝあり。其の最も見るべきは、新嘉坡に於ける中央圖書俱樂部の設立ならん。其の主旨に曰く「國の盛なる時は、其の美術も亦た見る可き者あり。唐宋の盛時に方り、其の

詩文其他藝術の不朽に傳ふべき多くを出せしにて之を知る。而して此詩文藝術が、其の屬せる國民に感化を及ぼすの深き、今に及んで唐宋名家の作に接し、覺えずして我祖先の偉大なりしを想ひ遣り、進んで國民的觀念を涵養することの尠なからず。茲に圖書俱樂部を設け、古今の美術を賞玩し、且つ相互に交講するの機を作らん」と。本年三月、其の發會式に方り、支那總領事は此舉を以て「南洋支那人社會が、地方的に小分し、福建、廣東、瓊州より、更に幾多の枝葉を分ち、緩急相輔くるの風に缺けたるを矯正する最好機關たり。施ては、國家觀念を存養するの一助たらん」と祝辭せり。蓋し英國が南洋に勢力を揮ひ始めて以來、其の政治の下に、支那人の生命財産は、安全に保護され、随つて彼等の中、永住の腰を据ゑたる者の無數にて、大概其の社會に錚々たる成功者たり。彼等の子孫は南洋に生れたる爲め、支那を知らず、往々にして支那語すら解せず、英國殖民地の法律に従ひ、生れながらの英國臣民として優待され、官吏として、

郵便局にも民政廳にも裁判所にも任用され、又た手代たり番頭たり、或は辯護士や代書人の小間使たる特權を有す。海峽殖民地十年前の人口調査に方り、彼等の數四萬四千二十二人なりしに、本年三月の調査は八萬六千七百七十八人を報告したり。彼等が往々、英國側より受くる所の特權を味ひ、漸く其心を英化せしめ、母國を忘るゝの傾勢あるが故に、總領事の訓諭的祝辭は、疑ひもなく此徒に對する頂門の一針たりき。而して支那人の有志者が之に和し、異口同音に母國の忘るべからざるを反覆せしこそ當然なれ。然れど、其場に客として招かれたる英國の官吏や僧侶や紳商には、頗ぶる之を氣障に思ひたる者もあり。ポルグレースの名の英人は、其側を代表し、清國總領事の訓諭的祝辭に對抗の意味を以て「然れど、諸君の内、英國の領土に生れ、英國臣民たるもの亦た少なからず。是事亦た母國に對すると均しく忘るべからざる重要事なり」と演說せしぞ奇妙なれ。

▲英人は支那人に頼る 實に、英國側が支那人の其殖民地に缺く可からざるを認知すること、將に和蘭陀人が彼等を爪哇に遇すると正反對なり。是れ、此殖民地は、人口の稀少にして、支那人に頼らざれば、何事も舉がらざる事情の下に在ると正反對に、彼は人口の十分に於て、支那人に待つ所なきのみならず、支那人の土人に於けるを以て、狼の羊に於けるが如く感せるに由らん。試に思へ、海峽殖民地や馬來聯邦にして支那人徴つせば、其拓殖の狀態決して今日の進歩を見る能はざるなり。蓋し南洋の如何なる政府も、阿片に係る収入が其財政の骨子たらざるなし。特に海峽殖民地の如く、人口の七分迄は支那人なる地方に於て然りとす。本年度該政府の阿片專賣利益豫算は三百九十四萬六千弗なりしが、豫算編成後、阿片原價の暴落に由て得られたる豫想外の利益は、殆ど此収入を二倍ならしめたるならん。是れ支那人の膏血より出て、馬來半島其他の開發に必要なる鐵道、電信、其他事業の爲に募られたる公債の元利を幾年

かの後に仕拂ひ得る最好財源に非ず乎。其他學校に病院に、支那人の寄附金に頼らざる者としては殆ど之れ無し。現今募集中なるエドワード七世紀念院の基金は、百弗以上の寄贈者の肖像を同院に保存する條件あり。他日此院を參觀するの士は、支那人の肖像の如何に多くが其壁を飾れるかを見るを得ん。然らば、英國人よりして南洋支那人の覺醒しつゝあるを見れば、勢ひ、多少不安の念なくんばあらざるべし。

▲支那労働者の初陣 夫れ楊朱は一髪の微だも他人の爲に抜かざるを主義とす。而して這は支那全般に金科玉條とさるゝ所ならん。故に人の危きを觀るも之を助くるなく。煦々の仁、子々の義も亦た彼等の關知せざる所なり。其富者顯者は揚々として一夫多妻の生活を榮とし、其微賤者は喪々として野に餓孚たらざるを得ば幸なり。是れ從來の状態即ち此の如し。語に曰く「何處としてか貧賤を得ざらんや」と。故に支那の微賤者が意を決して、其無情の故郷を後にし、海外の生活し易き所に生活を求むるこ

と誠に自然の勢なり。南洋に出稼するの彼等は、或は契約労働者として地方の産業に衣食し、或は自由労働者として其生を慰めんことを試む。坑夫たるあり、林夫たるあり、車夫たるあり、膳夫たるあり、水夫たるあらん。日本の諺に云ふ「藁は身を扶く」と、誠に然り。然れども、其の二の句を問へば、即ち曰く「扶くる程の不仕合せ」と。是れ日本の社會組織が養成したる大なる誤謬と謂ふて可なり。支那人は藁なきも自から扶くるの根性に富む。即ち彼等は「働きは食なり」と觀念す。故に働かざれば餓ゆと覺悟せり。是れ彼等が世界の到處に蔓延し得る所以なり。請ふ茲に南清より労働すべく初陣して、新嘉坡に車夫たる彼等の状態を陳べ、以て其堅忍の一斑を示さん。

一榻一椀、新嘉坡に上陸せる彼等は、新嘉坡の陋巷なる一室に箱詰の如く割込んだる後、人力車貸元に就き一車を借る。其借料は、鐵輪は午前十五錢、午後二十錢、護謨輪は午前二十五錢、午後三十五錢の定めにて、各車に一々其筋の官廳より授けたる賃

錢表を備ふ。彼等新來の挽夫は言語解せず、東西知らざるに拘らず、乗客あらば即ち之を乗せて走ること、誠に馬より一層伶俐なる動物と稱するに堪ゆ。故に南洋にて車に乗るは、自から馬車を馭すると異ならず。此等支那人の収入は、一日一弗なること甚だ稀なるが故に、其純月収を計算せば、殆ど衣食するのみなり。是れ新嘉坡に於ける勞銀の最下限にして、家庭勞働は食料附八弗乃至十二弗とす。鑛山や林業に作業する彼等の日給は約六十錢ならん。然れど彼等は本國に餓孚たるより優れりと思惟し、堅忍に勞働しつゝ、自己の力の乘じ得らるゝ機會の到否に任じ、志と與に宜しく朽ち果つるもあり。小成の錦を故郷に着けんとして歸るもあり。或は踏み止つて、自から南洋の豪と稱するもあり。本年一月以降八月末迄に、此徒の海峡殖民地に入込みし者十九萬千七百二十一人にて、昨年と同期間には十四萬二千七百二十二人を數へり。

追記 此章は支那革命騒亂の勃發前に起稿せり。大體に於て變化なければ、敢て改

斯か人は成功せん
 三笠寫眞館技師



藤山寛一氏

小田農夫一氏

錢表を備ふ。彼等新來の挽夫は言語解せず、東西知らざるに拘らず、乗客あらば即ち之を乗せて走ること、誠に馬より一層伶俐なる動物と稱するに堪ゆ。故に南洋にて車に乗るは、自から馬車を馭すると異ならず。此等支那人の収入は、一日一弗なること甚だ稀なるが故に、其純月收を計算せば、殆ど衣食するのみなり。是れ新嘉坡に於ける勞銀の最下限にして、家庭勞働は食料附八弗乃至十二弗とす。鑛山や林業に作業する彼等の日給は約六十錢ならん。然れど彼等は本國に餓孚たるより優れりと思惟し、堅忍に勞働しつゝ、自己の力の乗じ得らるゝ機會の到否に任じ、志と興に宜しく朽ち果つるもあり。小成の錦を故郷に着けんとて歸るもあり。或は踏み止つて、自から南洋の豪と稱するもあり。本年一月以降八月末迄に、此徒の海峡殖民地に入込みし者十九萬千七百二十一人にて、昨年と同期間には十四萬二千七百二十二人を數へり。

追記 此章は支那革命騒亂の勃發前に起稿せり。大體に於て變化なければ、敢て改

斯かる人は成功せん
第三篇 寫眞館技師



藤山寛一氏

小田農夫氏

訂せず。

第四章 日本人の發展

▲海外發展の變態 日本人の海外發展が、亞米利加海岸の外は、到る處に婦女子の賤業を先驅とせざるなし。是れ海外に發展する一種の變態にて、怪しむにも足らず。又た甚だ恥とするに及ばざるなり。亞米利加海岸にては、勞銀の高さが故に、日本男子の甘んじて出稼するあり。随つて婦女子の賤業を先驅に、發展するの必要なし。然れど、滿洲、支那、南洋地方は勞銀廉にして、劣等生活に甘する勞働者の多きが故に。特別の事情なき限りは、日本男子の勞働を要求するの痛切ならざるなり。従つて日本女子の賤業が發展の先驅となれると是非もなき次第ならず乎。蓋し徳川時代の鎖國政策と、武士制度の下に、數多の人を飼ひ殺し、自營奮闘の尙ぶに足らざるを教へたる

崇りは、工業の海外に誇るべきものなく、商業家と謂へば御用達類似の狡猾漢のみを作り出せしを以て、一旦開國したりとて、海外に貿易する物品もなく、勇氣もなく。却つて、九州地方の冒險なる男女子が、相率ゐて西南に色を賣りつゝ、發展したるなり。

▲上流社會の無能力 人或は日本の婦女子が海外に賤業するを以て、國家の醜恥と爲し、極力之を排斥すと雖も、這は無用の事にして、寧ろ其力を工業發達の方策を講ずるに用ゆべきのみ、東南なる海外に於ける日本賤業婦の横流を顯著ならしめたる裏面には、日本が此方面に貿易品を有せず、商人の多くが此地方に存在せざればなり。賤業婦に比せば、幾分か上流なるべき（蓄妾せる賤夫の多き日本商工界、左程上流にも非ず）日本商工界の無能力、無意氣地なるを間接に證明せる者なり、是れ寧ろ日本の恥辱と謂つて可なるべく、而して一賤業婦を南洋に、及び其他の海外に出さざる謹厚の

朝鮮が遭逢したる運命を傍觀せる者は、個人としても、團體としても、敢爲大膽なる者ならずば、世界競争に堪へ能はざるの理を了せん。

易の泰の象に曰く「包荒憑河」と。包荒は清濁并呑の意にて、憑河は冒險の謂なり。論語、孔子が憑河暴虎を斥くるの事を載すも、是れ其の意、暴虎憑河に專一ならんとせる子路に對する一片の投擲にて、萬人一樣に用ゆべきに非ず、易の泰の象の如きこそ、寧ろ上下古今に通じての名言にて、清濁を包有して勇往邁進することの「泰」を致し且つ之を維持する所以なり。

▲賤業の南洋發展 明治の初年、横濱より日本女子を妻とせる一英人の新嘉坡に移轉して幾もなく死去せし者あり。其妻乃ち斷髮男装して其地のヨーロッパ、ホテルのボーイ稼に従事せしむ、容色の衰へたりと謂ふにも非ず。遂に人に誘はれ、陋巷に賤業を始めたる者、實に南洋に於ける日本賤業の祖師様なりと傳へり。是より其類の集ま

る者、月に年に多く。婦女子の多きに随ひ、男子の之に寄生する者も漸く多きを加へたり、爾來、是等の男女子は輔車相依つて、或は馬來半島に、或は蘭領諸島に、或は濠洲方面に其羽翼を伸ばし、隱然として南洋の豪を自任する者を輩出し、高潔好きにて而もお祭り騒ぎ癖ある、日本領事をして、何かと云へば金銭の相談を是等の豪傑社會に持ち掛くるを常とせしめて、今日に至れり。

▲自然に生ずる正業 日本は賤業の存在せる所より、何かと云へば、寄附金の絞られるるなく、即ち新嘉坡駐在領事館員の如きは、斯くして統れる金銭を花火にし、客を請ひ宴を設け、或は日本の天災地變に同情するに用ひて、自から得たり顔しつゝ、却つて表面にては賤業者に接すること恰も朝衣朝冠を着けて塗炭の上に坐するが如し。是を南洋に於ける日本官民の相交はれる一斑とせん。

斯くナブられつゝある賤業も、一部落を成せば、必らず日本雜貨を賣る店舗を生む。

這は是れ所謂ゆる正業にして、南洋地方にては特に名譽のものなり。即ち三井物産の新嘉坡支店が朝日麥酒の賣捌を試みしむるや矢ヶ部商會が日の出麥酒や紙巻煙草ライトを一手賣捌せるを首とし、此類の大小店舗の各地方に散在せるを擧げば。新嘉坡にては越後屋、日本商行、小林長久、庄司、小山、同新店、村上、福田、水野、田本。丸ト等あり。馬來半島のコーランポには、松田、富木諸店及び、長久支店あり、コラクポには、森川、坂井の兩店、及び長久支店あり、イツポには、朝日商會、市川加納諸店あり。彼南には山田雜貨店あり、新田商店あり、其他マラツカ、スレンバン。カラン等、苟くも日本部落の在る所、雜貨或は呉服を鬻ぐ者の之れ無きはなし。然れど、近時南洋發展の聲の餘りに日本に叫ばるゝより、日本より新來の行商或は居商の増加する傾向あり。随つて日本人の需要に應ずる商業の前途には、競争共斃の恐あらざらんと先見せる人々は、更に土人或は其他の外人を相手とするの商業を研究しつゝ

あり。是れも亦た南洋に於ける日本勢力發展の一進歩ならん。日本人の需要にのみ依頼せざる職業中、最も顯著に發達せるは寫眞業にて、新嘉坡には東郷、大坪、東洋の三寫眞館あり。マラツカに石井、スレンバンに栗田等あり、コランポに中島、中馬あり。イッポには三笠、伊藤、奈良あり。彼南に岡庭寫眞館あり。特に中島、三笠、岡庭の如きは、外人に對し日本人の誇りとも謂ふ可けん。近時護謨栽培の行はれ、其栽培地の賣買が寫眞に由て開始さるゝあり、要するに、寫眞師は南洋に於ける最も面白き前途を有せりと思はる、其他時計修繕業として新嘉坡に副島鈴木兩舖あり、鼈甲細工業として賀川あり。イッポには中村宅市氏の洋服舖あり。馬來半島の人口が年一年に増加するに加へ、支那人間に排滿思想の盛なる結果、理髮業の有望なるは明なり。新嘉坡にて日本理髮業者の開祖と謂ふべき北見床は、十五六年の歴史を有し、南洋日本人の最も獨立的なる一と目さるゝなり。其他に松尾。高木、

福田床あり。近年護謨林經營業の發達に従ひ、建築其外諸般の請負業起り、新嘉坡には渡邊庄七氏あり。コランポには江頭又一氏あり。氏は佐賀縣人にて。頗ぶる理義に明かに。責任の觀念に強く、南洋日本人中には珍らしき好漢と許されたり其他、田島平一氏も亦同市を中心とし、土木請負に従事しつゝあり其他の職業中、洗濯業、最も有望の者たらん。新嘉坡にて此業に従事せるは、小林、石井、森本、永田なり。コランポ、イッポ及彼南等にて、日本人の是等の職業に従ふ者の多く。蘭領諸島に日本人の斯業に従事する者なきも、其有望なること疑を容れず。斯かる事業并に職業が、日本人を南洋に落着けつゝある外に、又た一種壯快なる事業の經營されつゝあるありて、日本人が必しも尋常一様の事にのみ醒醒せざるを證明せるは。播磨勝太郎氏の活動寫眞業が新嘉坡及びイッポに常設館を有し。コランポ、カラシ、彼南及び蘭領諸方に臨時興行せる如き。及び原田寅吉氏がイッポに櫻商會て

ふ自動車修繕所を有する外、ペラ州ゴーパーンとカンボー間十二哩の自動車交通業を經營せる如き。米井虎一郎氏が緬甸メグイ島に眞珠採集業を經營せる如きあり。清淨潔白のみに介意する者をして謂はしめば、左程にも稱賛するに値せずと謂ふならん。然れど、天下の廣き、何の處に稱賛するに値する者ありやと問へば、此徒の答も亦た窮せざるを得ざるべく。易の所謂ゆる「包荒憑河」こそ「泰」を致す所以にして。不幸にも商工業なくして開國したる日本の南洋發展が、一時は疑はしき變態を現せしも。此等有爲の徒に由つて、漸く正しき發展に反らんとの徴を萌せること慶すべきに至りなり。此以上の進歩發展は、日本の工業が南洋一般に如何なる物品を供給するや、及び、日本の思想家が南洋に越在せる同胞を如何に指導するやの問題裏に包有さるゝが故に、茲には、此より以奥を説くことを避け、更に蘭領方面の一斑を述べん。

▲スマトラ、メダン市 地方も亦日本女子の先登に引續き、同胞の發展せしと隠れもな

れもなき事實なり。然り而して現に日本人社會の率先者たる澁谷常五郎氏が、此地方に始めて日本美術を賣れ擴めたるは、今より二十四五年前の事と謂へり。和蘭陀人の南洋に出稼ぐ者共が、小成の錦を故郷に飾らんとて、南洋を去るの際、東洋美術の精華として、日本品を購ふ風ある故、澁谷商店に踵ぎ、松崎、八木、山崎、竹内等の美術兼雜貨店の續續として開かれたり。藥品并に美術的雜品を鬻げる池田勇之進氏あり。寫眞業者には、横田、藤崎兩氏あり。其他樋口、山崎、松本等の雜貨店あり。而してインディヤホテルは、清閑なるメダン市に遊ぶ世界の何人をも宿泊せしむるに足る日本旅館たり。メダン附近の日本人を數へば、ピンゼーに今泉、村上の兩雜貨店と今井藥舗あり。テレビンテンギには後藤、竹下兩藥舗あり。ランカツに小笠原寫眞館あり。プランダンに原島雜貨店あり。孰れもメダンを中心として、居留せる日本人の重なる者也。スマトラ、西海岸への日本人發展は東海岸に於ける程著るしからず。唯バダン市に豊泉雜貨店と木村

藥舖の在るあり。

スマトラ地方の日本人は、日本との交通の疎遠と、和蘭陀官憲の施政の慎察なる爲、馬來地方の日本人と其氣風を異にし靜穩を好むと他に過ぐる者あり。其日本人協會はメダンを本部とし、デリー州在留者を網羅したる團體にて、同胞の親睦は勿論、困厄者の救濟、死亡者の始末を目的せる基本財産を積立つるのみならず、宏大なる日本人墓地を所有せり。現會長は榎田益雄氏にて、外に會計幹事三名あり。此協會の外日本人俱樂部あり、メダン在留の商店員の親睦機關たり。其現理事は山崎敏之氏にて幹事三名を副ふ

▲其他の蘭領地方 スラバヤには東京潮谷商會の支店と、京都よりせる稻垣商店とあり。俱に爪哇に於ける日本商人中の大達者たり。其他雜貨業には高橋、岡崎兩店あり、スラバヤに近きスンパワンには郷田雜貨店あり、スマラン市なる小川、横山の兩藥舖は、パタピヤ總督府より、特許されたる專賣藥の數種を賣出せるを以て特利を享けつゝある有力者たり。

り。同市に林、永山二氏の雜貨業を營めるあり。パタピヤは其總督府の所在地たるに似ず、唯だ吉坂雜貨店及び同名の旅館を紹介せば足らん。爪哇及びスマトラ以外記するに足るは、唯だセレベス島マツカーサー港乎。此處には、荒木商店の呉服及び雜貨を營業せる傍ら其土の物産買出に従事せるあり。其店主荒木半四郎氏は該地方に於ける有力者たり。

潮谷商會の爪哇商業は、シャツ類を中堅とせる綿布貿易にて、稻垣商店は美術及び雜貨を扱ふなり。爪哇人口の饒多にて、又た日本人に親しめる等、日本品の輸入に便宜なる緣故の澤山なるも、唯だ此地方商業を視察することの精到ならざると、縱令ひ精到の觀察を了せる者あるも、其信用の未だ相當資本を動かすに足らざるとは、這兩商店の外に名を稱する程の者を出さざる所以ならん。

▲團體及び勢力家 日本人の團體を組織せるは、獨りスマトラ、メダンのみならず。

彼南には有力なる青年會あつて、石井六郎氏其會長たり。葬祭の庶事に機關たる外、又た在留同胞の指導并に親睦に努めり。イッポの弘隆會は松竹勝次氏を會長とし、スレンパンの弘道會は笠田直吉氏を會長とし、共に新嘉坡なる共濟會の備に倣ひ、同胞の共同墓地管理と葬祭を遺憾なからしむるに努めり。コーランポにも亦た厚德會なる團體ありて、前二者と同様の目的を有せしが、曩に其無届、無登録の團體たりし爲め、遂に地方官憲より解散を命せられり。去れど、有用の團體が此儘に葬らるべき筈もなし。同胞の死者を葬らん爲には、此會を蘇生せしめんことをこそ必要なるべし。若し夫れ新嘉坡の共濟會は、南洋の玄關に在る日本人共同墓地管理と葬祭の一切事業にて、其起源に就ては、別に述ぶる所あらん。夫れ何の社會を問はず、必ず其多數の仰いて中心的人物なりとする有力者あり。社會改良の事を仕遂げんには、這有力者に訴ふる事の實に度外視すべからず。南洋の日本人

社界も亦た此例に洩れず。南洋に居着く日本人の次第に増加するに従ひ、斯同胞を善導し、幽谷より出て、喬木に遷らしむべき必要の眼前に迫りつゝあり。故に茲に勢力ある面々を摘録し、斯事に志ある者の参考とせん。即ち新嘉坡には、二木多賀次郎播磨勝太郎、小林千代吉、矢ヶ部倉吉、高橋忠平、加藤鉦太郎の諸氏あり。其他少壯中の中川菊三氏の如きは後來有望の人物たり。又た七年前護謨栽培が何人にも氣附かれざりし頃早くも其有益なる事を先見し數人の同志と笠田、中川諸氏の例を追ひたる東境せい氏あり南洋に滔々たる日本女流の群をぬき社會改良に熱心なる稀有の才人たり。コーランポには謹厚の長者と聞ゆる松田三次郎氏あり。壯年敏腕家たる井上勝榮氏あり。スレンパンには笠田直吉、朝永誠三の二氏あり。カランには温厚の稱ある木下彌一郎、西依徳次郎の諸氏あり。コーラクポには敬神家として名高き永田彌八郎氏あり。アンパンには大隅直太郎氏あり。イッポには實着老成なる山田豊三郎氏を首として、市川鐵雄、加

納信孝の諸氏あり。彼南に山田末次郎、田中末五郎の諸氏あり。新嘉坡の中野、スレ
ンバンの高木、コーランポアの佐竹、イツポの松竹、彼南の石井。此等の諸氏は醫師
たり、且つ同胞間の有志として各自の部落に勢力あり。

▲新嘉坡領事 實にや「地僻なれば吏尊ばる」と傳へり。在外民とは謂へ、一般に官吏
崇尊の傾向が日本に於けるよりも數層甚だしきが故に、駐在領事の在不在の影響は
他に於けるに比して特に甚だしとす。之を在南父老の言に徴するに、過去の領事中、
最も卓越せしは齋藤氏なりしと推さる。氏の聰明は南洋に於ける日本人發展の状態を
洞見し、専ら同胞の企業を奨励し、幾分にも邦人の善化せんことに腐心したるが如
し。其の笠田、中川諸人に珈琲栽培を勧めしことの縱令失敗に終りしも、南洋に漂浪
せる日本人をして遊逸の耻つべきことを觀念せしめしは、入り換り立ち換れる領事中
氏に過ぐる者の恐らくは之れ無けん。之に反し、最も可憐の失敗領事と傳へらるべき

は、在任六ヶ月間、居留民を騷擾せしむる外、何事をも爲さざりし近藤愿吉氏なるべ
し。其小心にして善意の人たるに相違なきも、官僚主義てふ乳汁にて育てられたる臭
味の紛々として四邊に當り散らさるゝあり。就任の日より居留民の一部に對して意見
議論を戦はす等、相踵げる紛争は、氏の在任期間を始終したり。特に最も噴飯に堪へ
ざるは、氏の反對新聞を忌むことの非常識にて、天長節夜會の招待不招待を新聞記者
賞罰の色別けに利用せしが如きことあり。即ち當時南洋自由評林とて、氏に對抗する
一雜誌ありしが、氏は其主幹に向ひ「新聞を廢めざれば天長節に招かず」と慢言せしこ
との、如何に「萬機公論に決すべし」と明治の初年に御宸翰遊ばされし我天皇陛下の官
吏に不似合なることをよ！此失言の爲め、進退維谷の地に立往生せんかと疑はれし氏
は幸にも在留の有志者、二木、播磨、小林、矢ヶ部四氏の幹旋に依頼し、厩かに官僚的
面目を保維して、懲戒せんとしたる雜誌主幹にと和解することを得たる如き、如何に

外務省の人物を差配するの杜撰を極むるかを見るに足らん。

近藤氏に繼げるは現任代理領事岩谷讓吉氏にて、甚だしき可不可なく、自からは穩健を旨とするを謂ふも、批評者は其の不得要領を議しつゝあり。然れども、是等は未だ以て氏の有爲無爲を斷すべき要點と爲すに足らず。所謂ゆる地僻にして吏に權ありとは新嘉坡日本社會の事情を穿ち盡せる名言なり。去らば此南洋玄關に吏としての氏が在留日本人を醇化して、其間に向上の氣を含ましめんには、應さに何等の方法を執るべき乎。是れ僻地に吏たる者に付き纏ふ自然の責任にて、氏の識見技倆の程は、此問題の解決如何に就て軒輊さるゝを正當とせん。

▲兒童教育の皆無 死せる同胞を埋葬すべき日本人墓地は既に各所に設けられり。去れど生れ來る日本兒童の教育は、今猶ほ等閑視さる。新嘉坡在留者に就き、本年一月間に由れば、日本兒童總計五十一人にて、四歳以上十八人、七歳以上十六人なり。之

に半島并に彼南地方の兒童を加へば、其數は以て一個の教育機關を設く可きを見る。南洋日本人の生活状態は、寧ろ其兒童を他に托して、身輕に稼ぐを便とする者多きに居る。故に地の遠近は甚だ問ふ所に非ず。苟くも信用すべき宿舍と學校の存せば、其私設と公設とに拘らず、最も有用の機關と看做さる可きこと疑なし。數年前此事の唱へられ始めて以來、其必要なる所以は既に業に説き盡されたり。去れど、必要なる事業の礎石さへ未だ用意するなくして、却つて外人の首唱に係る學校其他の公益事業に義金の流出するあり。日本語を操つると、馬來の土人語を操つるに及ばざる様の日本兒童も出來しつゝあり。他日、或は英國流に教育されたる結果、日本歴史の大意だも知らざる少年を出し、天皇陛下萬歳の何の意たるを解せず、茫然として同胞歡呼の裏に立つ者も生せん。日本文學の知識は、毛頭だも兒童の腦裏に印象されず、却つて卑猥なる馬來の俗歌の好んで歌はれんとする傾向なきにしもあらず。是れ有志者の當さ

に熟慮一番すべき所なり。(支那人覺醒の記事参照)

▲共濟會の起源 生者は必滅す。南洋に日本人を發展せしめんには、墳墓の地の有無が、如何に同胞の志操を堅脆ならしむるかを考へざる可らず。考察の之に及ばず、則ち南洋に於ける最初の日本人墓地として新嘉坡に在る者の事歴に就き、何人も其大要を聞くことを厭はざる可し。故に茲に其起源を略述せん。

新嘉坡市街の北方三哩スラングンなる日本人共同墓地は地積十二エーカーを占め、其設備の完全にして僧舎あり、堂宇あり。本年十一月、名古屋の名僧日置默仙師の暹羅皇帝戴冠式に參列の途次、新嘉坡に寄泊するや、同胞有志の請に従ひ、釋教山西有寺の稱號を之に與へたり。同胞の共有墓地が、此の如く成就したるは、固より衆力に頼ると雖も、衆力を集めて斯かる成就を得せしめたるは、全く三木多賀次郎氏の力と謂ふも、一人の之を争ふ者なけん。氏は長野縣人にて家は横濱に在り。新嘉坡に在て、

護謨栽培に従事せる外、共同墓地の大成を以て自己の南洋日本人に盡す事業と思惟せり。其初め、海員として外國船に乗組み、亞細亞の諸港を見舞ふと屢々なりしが、明治二十一年、新嘉坡に上陸し、日本雜貨商を經營し、其傍ら同胞男女の世話役とも名くべき庶事に當りつゝ今日に至れり。其齡の今や將に古稀ならんとするも、矍鑠たる元氣の横逸せる、不言裏に意思の強健なるを表示せり。明治二十一年、氏の新嘉坡に來れるや、日本の男子は僅に十七人。孰れも醉生夢死の輩にして、與に語るに足らざりしが、唯だ濫谷某の氏と相談して、日本人の庶事に就き、公共的とも名くべき意見を交換せしも、幾ならずして去り、獨り氏のみ存せり。

今より二十四五年前の日本は、歐洲人の眼中に、東洋の貧弱國と映じ、支那以下たり朝鮮より稍や以上たりき。南洋に漂流せる同胞は、其地の主權者たる英人に恰も今日のタミール或は爪哇人と甲乙なき者程に見下げられたりしと勿論なり。日本商人の堂

堂として外國人と取引する者ありしに非ず。其雜貨商の如きは殆ど數ふるに足らざる程のものなりき。日本婦女は世界無名無籍の零落者と看做されたることの是非もなく、彼等の病は支那慈善家陳德勝の海峽殖民地に獻立したる慈善病院に托する外に致方なく、其死者は、獄死者及び斃牛斃馬の埋葬地に送られ、恰も日本にて行倒れを處分する如なりしと云ふ。澁谷某は曾て上海に在り、本願寺の事業たる慈善會墓地の制度を見聞せし事あり。其の新嘉坡に在るや、二木氏と與に日本墓地創設の必要なることを相唱和せり。

二木氏が共同墓地を計畫したるは、明治二十一年十一月にて、有ゆる困難と戦ひ、スランダンに掌大の地を得たり。乃ち曩に刑人墓地に埋められたる同胞二十七人の白骨を牛頭馬骨の間より發し、之を新墓地に改葬し、無縁塚の碑を建立し、永久に同胞相憐むの情を表しぬ。爾來茲に二十有五年、墓地經營の困難に加へ、南洋在留の同胞に

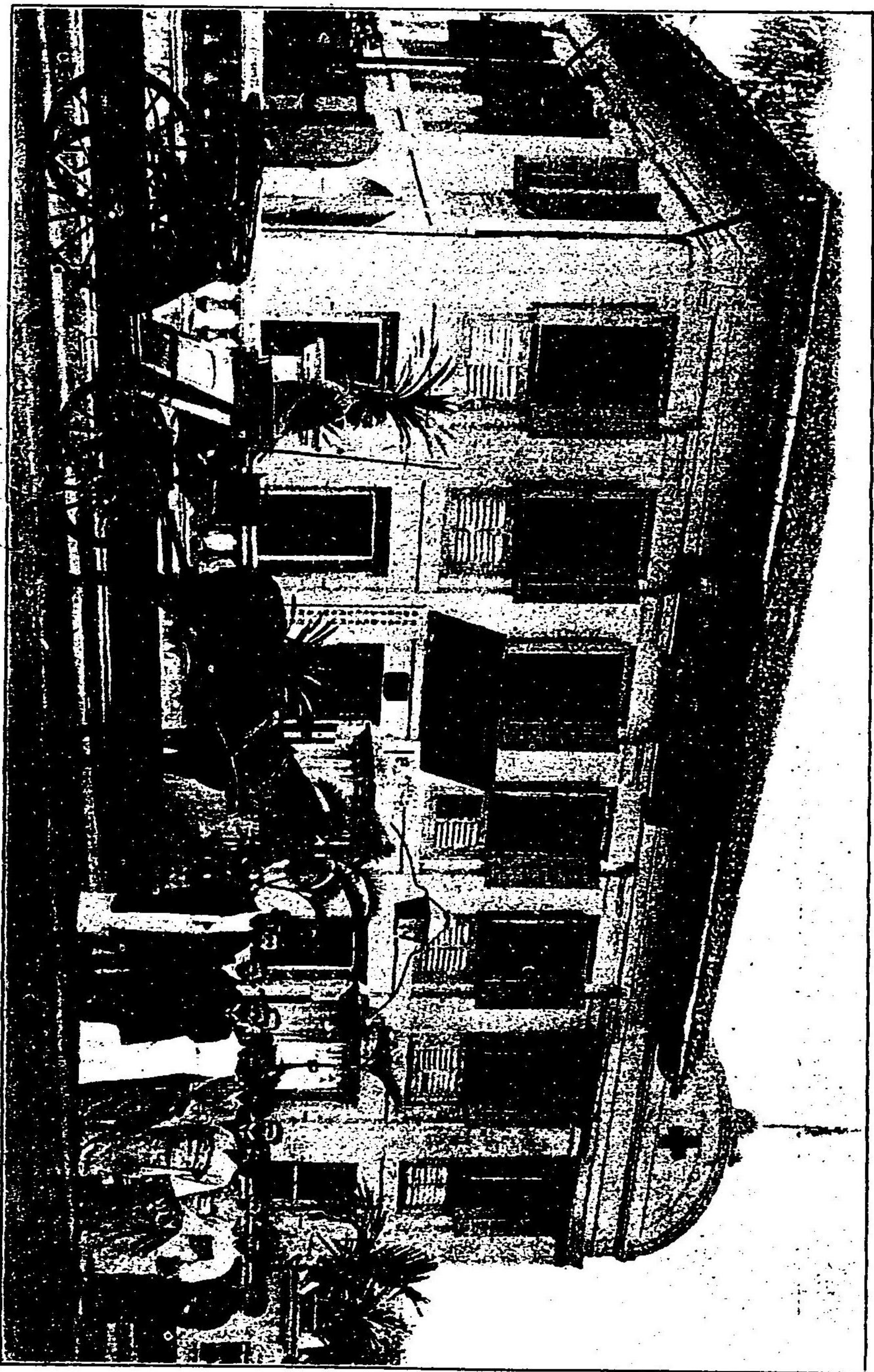
常事として引續ける紛争に波動さるゝと一再ならず、之が爲め、幾度か崩れんとせし斯業の基礎も、幸に氏の堅忍に保持されたることは、云ふ迄もなく。日本より釋棋仙を聘し、其精舎に住職たらしめ、供養に、讀經に、在留者をして自から慰遣する所あらしむる等、又た氏の經營の一端にて、篤志の極みと謂ふも不可なからん。

初め共同墓地として得たる地積は凡そ八エーカーなりしが、其後、氏は其私有地約四エーカーを墓地に編入し、九九九年無料貸下せんことを英國官憲に請ひ、以て現今の地積を成せり。人或は南洋の日本人墓地が賤業者の骨を埋めたるに起源するに憚焉たらんも、這は其人の狹量淺識を表白するものなり。前年、我外務書記生長谷川某、海牙よりの歸途新嘉坡に病歿するや、其骸骨も亦た此處に托されたれば、則ち此墓地こそ釋教の所謂ゆる皆是れ一元に歸するものにして、人世五十年間の色彩の黒たり白たるに於て何か有らん。日本人の南洋發展が、如何に其状態を變化するとも、南洋にて死

せる同胞の骨は、新嘉坡にても、馬來半島にても、蘭領諸島にても、既存の共同墓地に受けらる可し。吾人は唯だ南洋日本人の將來が、果して能く從來の設備を利用し得る丈けに發展し、其創設者の辛勞を水泡にせざらんことを祈る。

共同墓地と共に生れたる共濟會の初名は慈善會にて、在留同胞は、男女を問はず會員たり得。會員は毎月二十五錢を納付し、共濟の基金を作れり。死者の埋葬及び遺族への弔慰は、該會が死せる會員に對せる義務とする所なり。會員外の死者は、縱令共同墓地に受けらるゝも、此待遇を得ず。役員は毎年改選さるゝ定めにて、年々歳々更迭の行はるゝも、會長としては、二木氏の連選されつゝあり。陳德勝病院が四海同胞主義に經營され、日本人の病を視ることも、無料入院を承くることも、殆ど他に類例なきを以て、共濟會は毎年其好意を認むるの表示として若干金を贈遣するを例とす。近時護謨栽培地に從事せる日本人の増加に従ひ、該慈善院を煩はすことの漸く頻々たり

新嘉坡の野醫院

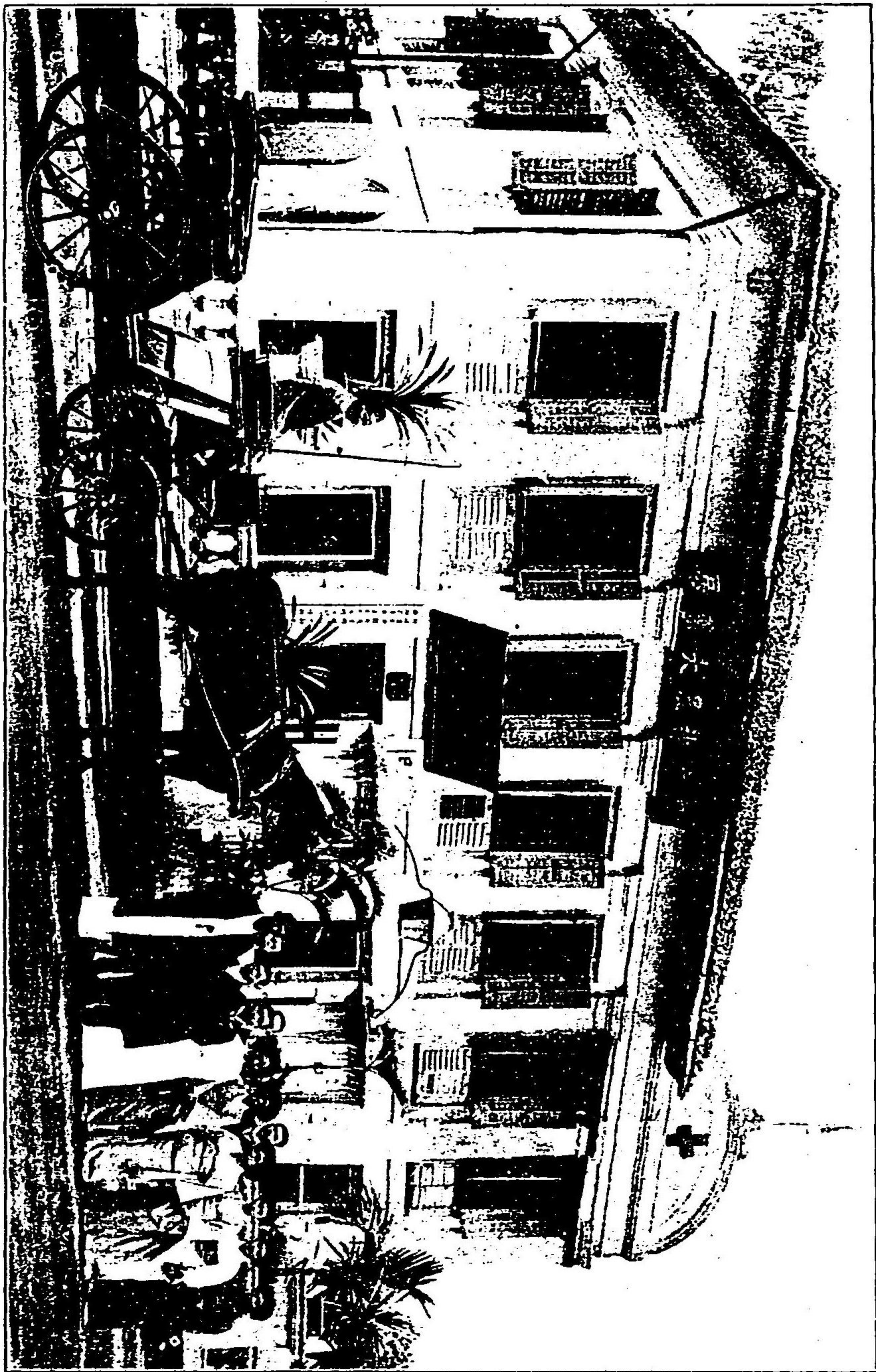


野醫院の前面

せる同胞の骨は、新嘉坡にても、馬來半島にても、蘭領諸島にても、既存の共同墓地に受けらる可し。吾人は唯だ南洋日本人の將來が、果して能く從來の設備を利用し得る丈けに發展し、其創設者の辛勞を水泡にせざらんことを祈る。

共同墓地と共に生れたる共濟會の初名は慈善會にて、在留同胞は、男女を問はず會員たり得。會員は毎月二十五錢を納付し、共濟の基金を作れり。死者の埋葬及び遺族への弔慰は、該會が死せる會員に對せる義務とする所なり。會員外の死者は、縱令共同墓地に受けらるゝも、此待遇を得ず。役員は毎年改選さるゝ定めにて、年々歳々更迭の行はるゝも、會長としては、二木氏の連選されつゝあり。陳德勝病院が四海同胞主義に經營され、日本人の病を視ることも、無料入院を承くることも、殆ど他に類例なきを以て、共濟會は毎年其好意を認むるの表示として若干金を贈遺するを例とす。近時護謨栽培地に從事せる日本人の増加に従ひ、該慈善院を煩はすことの漸く頻々たり

新嘉坡の野中醫院



野中野中がなせ装洋の面前

つゝあり。去らば、此等の者共も、亦た間接に、共濟會の此舉の餘澤を被じりつゝありとせん。

▲日本新聞 南洋の日本人が新聞を要すること勿論なるも、人口の至少なるは、新聞事業經營者の最も困難とする所。去れど、讀者は鐵筆謄寫版の文字を以て満足するが故に、新聞雜誌の創設は甚だ易し。新嘉坡は斯かる事業の醞釀所にて、南洋新報（一週二回發行、活字及印刷機を有す）星嘉坡日報（日刊鐵筆）星坡サンデー（週刊鐵筆）の三發行物あり。其發行數は五十枚なるあり、二百枚なるあり、最も多き南洋新報は約五百枚ならん。

第五章 日本人醫業界

▲日本醫の信用 馬來人には元來醫術のあることなく、而して南洋に多數を占むる支

那人には、上古に神農あり、又た扁鵲、蒼公ありしも、今や彼等は自から其醫術に信賴し能はず。熱帯病は英國にて熱心に研究さるゝも、醫師たる英人の南洋に在る數は僅少なり。新嘉坡なる醫學院の目的は、醫師及び病院助手を養成するに在るも、唯だ一、二期の卒業生數名を出せしのみ。向後と雖も抄々しく醫師を供給し能はざるべし故に南洋の到處に日本醫の歓迎されざるなく、苟も馬來語を解し、且つ堅忍耐久の氣力ある醫師なれば、日本に於けるよりも、南洋に成功すること易く且つ速かならん。馬來人の容相は日本人と大差なく、氣質も亦た稍や相似る所あり。彼等は支那人を賤しむも、日本人を敬視す。歐米の異教徒よりも日本人を信するや深し。蘭領地方にては、日本醫の開業に對し出來得る丈の故障を與ふるを以て、土人の日本醫を好むに拘らず、開業を不可能ならしめり。去れど、猶ほスラバヤに市川醫院の外、齒科醫としては北本隆、藤井弘任兩氏あり。英領地方に至つては、開業に何等の故障あることなく、

日本にての有資格者は此方面にても有資格者なり。特に齒科醫の開業免許の容易に下附さるゝは驚く計りにて、日本にての素養の如何は、殆ど問ふ所に非らず。故に日本人の高等職業として南洋に有望なるは、醫業を以て第一とせん。

▲日本醫業の嚆矢 日本醫にて南洋に開業せしは、明治二十八年中、長崎醫學校出身の中野光三氏を嚆矢とす。氏は福岡縣人にて、資性の快濶に加へ、機敏にして交際に長じ、醫師としての性格の先天的に具はれるが如し。其の新嘉坡に来るや、支那人の多數なるに見る所あり。乃ち其醫院を日本神農藥房と標榜せしが。在留の同胞は勿論支那人の請診、其門に相踵き、南洋從來の支那醫を屏息せしめ、開業の一年後、得全堂の名號を氏に呈する支那人あるに至れり、是れ氏が其支院を設くるに方り、神農藥房に代ゆるに得全堂の標榜を以てせる所以なりと傳ふ。日本醫術の聲價の氏に依つて發揚されてより、西村、佐藤等の諸氏相踵で來り、或は新嘉坡に、或は馬來半島に、或

は彼南に開業するあり。日本醫術は遂に緬甸ラングーン地方に迄發展したり。乃ち茲に海峽殖民地及び馬來聯邦地方の日本醫業を序列せん。

日本神農藥房	新嘉坡グヰクトリヤ街	長崎醫學校出身	中野光三
得全堂醫院	同サウスブリツチロード		
日本醫院	新嘉坡ヒル街	内務省免許	西村竹四郎
東洋藥房	新嘉坡ミッドルロード	熊本醫學校出身	佐藤有太
日本藥房	新嘉坡ミッドルロード	經營者	遠藤隆夫
日英醫館 及新嘉坡養生園兼營	新嘉坡フランスバサーロード	醫士	安達昌平
佐竹醫院	スランゴール州コーランポー	千葉醫學校出身	佐竹逸藏
平安醫院	同上	内務省醫師	平原雲新

南洋醫院	同上	同	宇野瀧之助
高木醫院	ネグリスミラン州スレンバン	岡山醫學校出身	高木龜太郎
松竹醫院	ペラ州イツボ	内務省免許	松竹勝次
石井醫院	彼南	金澤醫學校出身	石井六郎

以上の外、ジョホール州リバーデモンの護謨栽培地に北川正良氏の養生所あり。護謨栽培に従事せる日本人の休養所に充てんとするならん。

▲労働者健康條例 海峽殖民地政府は他の馬來地方に典型を示さん爲め、本年夏、労働者健康條例を制定し、事業家をして其使用せる労働者の健康保護に任せしめんとせり。該條例は、十人以上の労働者を使用せる園業、林業等の經營者を拘束して、醫藥供給、醫師聘用及び其他の衛生的設備一切を命令す。此法令が漸次に他の馬來地方に摸倣さるゝ曉には、ジョホール地方の日本人護謨林も、亦た熱帯病に精通せる醫師を

聘用すべきを以て、此方面の需要も輕視すべからざるの數に達するや明なり。
 ▲患者病症の統計 明治四十二年中、中野光三氏の醫院にて扱はれたる患者數は四千二百二十八人にて、其國別は、

日本人	三四五人	歐洲人	五八人
支那人	二八五四同	馬來人	二三三同
印度人	五三〇同	アラブ人	三三同
土耳古人	一三同	其他	四一同

又た各月患者の増減は、

一月	二五三人	二月	二八二人	三月	二七三人
四月	三三八同	五月	三三二同	六月	四三三同
七月	四四三同	八月	四六五同	九月	四二〇同

なりと報せらるゝが故に、六月以降九月迄を疾病の最盛期ならずやと想はしむ。更に
 以上患者の病症を種別せば、
 傳染性疾患

脚氣	五二	流行性腦脊髄膜炎	一	虎列刺	五
シブテリヤ	二	赤痢	五六	腸壁扶斯	二〇
丹毒	三	癩病	三	マラリヤ	二八三
麻疹	二〇	肺炎	二八	痘瘡	一
梅毒	二四〇	淋病	三一六	破傷風	一

中毒諸病

酒精毒
 神経系統疾患

酒精毒	一	阿片中毒	二〇
背髓炎	五	神經痛	二〇
		腦膜炎	二八

腦出血	二	腦アブセス	二	腦水腫	一
偏頭痛	一	癩	三	ヒステリー	二六
神經衰弱	一八				
眼疾患					
トヲホーム	ナシ	結膜炎	四〇	白内障	二〇
角膜諸病	四八	虹彩炎	五八	眼底諸病	三〇
耳疾患					
外聽道疾患	三五	鼓膜破裂	四	間耳諸病	八
鼻疾患					
鼻加答兒	二九	ホリーフ	八	其他	一八
血行器諸病					
心臟外膜炎	九	心臟内膜炎	二〇	心臟實質炎	二
辨膜諸病	二〇	心臟擴張症	二	靜脈炎	三
靜脈怒脹	五				

呼吸器疾患					
喘息	二八	喉頭加答兒	三五	氣管支加答兒	一二〇
肺結核	六〇	肋膜炎	二六		
消化器疾患					
口腔炎	五六	口腔潰瘍	一八	齦齒	三五
舌潰瘍	一三	咽頭加答兒	三八	扁豆泉炎	四五
胃加答兒	八九	胃潰瘍	一八	消化不良	七六
胃	四	腸加答兒	九二	腸閉塞	一
便秘	三八	痔瘻	三五	痔核	一三
便	二〇	肝臟アブセス	二六	加答兒性黃疸	五
脫肛	一八				
瘻石					
腹膜諸病					
腹膜炎	一三	腹水	八		
泌尿生殖器疾患					

腎臟諸病	五六	膀胱加答兒	二八	膀胱結石	六
尿道狹塞	二五	尿道漏	八	包莖	三八
軟性下疳	一二〇	陰囊水腫	二六	睪丸炎	三四
ヘルニヤ	八	子宮諸病	一八二		
骨諸病					
骨膜炎	一六	腐骨疽	四〇	カリエス	一八
關節炎	四二	脱臼	六		
皮膚諸病					
尋麻疹	二〇	濕疹	五八	カルプルンケル	一三
蜂窩織炎	二一	アプセス	三八	象皮病	六
匍行疹	一四六	白癬	六八	下眼潰瘍	三二五
血液及新陳代謝疾患					
白血病	六	紫斑病	五	壞血病	一二
痛風	四	糖尿病	六三	尿崩	一

德麻質新 三二

寄生蟲病

條 蟲 二八 回 蟲 七〇 肺ダストマ 八

肝臟ダストマ 五 十二指腸蟲 二六 井フラリヤ 四八

▲齒科醫 現今南洋にて開業せる齒科醫は、日本人の其れを最も信用ありとせん。即ち新嘉坡に開業せる齒科醫今岡豊三氏の計數に由れば、氏の取扱ふ患者の百人中、四十七を支那人、三十を馬來人、二十を白色人、三を日本人と概算し得るとの事。南洋にては歐米人の齒科醫の稀有なる爲め、斯くも白色人を扱ふとの多數に達する所以ならん。近時支那人中に齒科醫の現はるゝと漸く多きを加へつゝあれば、日本よりの同業者の後來は勢ひ之と競争を豫期さるゝも、現今にては甚だしき影響を受け居らず。新嘉坡及び、馬來地方にて開業を登録されたる現員は、

新嘉坡ヅキクトリヤ町

山本作次郎

の諸氏なるも、猶ほ各地に散在せる未登録者の數も尠なからざらん。

▲日本貴藥業 日本賣藥が、支那人にも需要され、且つ馬來人に需要さるゝは、猶

新嘉坡ノースブリツヂロード 今岡 豊三

同 ノースブリツヂロード 古本 豊之

同 ノースブリツヂロード 平野 艶藏

同 プラスバザードロード 蔦田 顯理

同 プラスバザードロード 岩坪 純太郎

同 ヲーチャードロード 本多 助次

スランゴール州コランボー 大河 慶助

ペラ州イッポ 浦田 氏

ボルネオサラワク 宇治田 重治

護 裁 培 業 の 智 識



遠 藤 隆 夫 氏

護 裁 培 業 の 智 識



遠 藤 隆 夫 氏

の諸氏なるも、猶ほ各地に散在せる未登録者の數も尠なからざらん。

▲日本賣藥業 日本の賣藥が、支那人にも需要され、且つ馬來人に需要さるゝは、猶

新嘉坡ノースブリッジロード 今岡豊三

同 ノースブリッジロード 古本豊之

同 ノースブリッジロード 平野艶藏

同 プラスバザールロード 葛田顯理

同 プラスバザールロード 岩坪純太郎

同 ヲーチヤードロード 本多助次

スランゴール州コーランポー 大河慶助

ペラ州イッポ 浦田氏

ボルネオサラワク 宇治田重治

は日本醫師の彼等に於けると一様なり。新嘉坡には日本賣藥會社の支店あつて、賣藥部と器械部を分營し、殆ど歐米の同業者を凌がんとせり。馬來地方并に英領ボルネオに行商する賣藥者の本家とせるは、此賣藥部なりと謂て可ならん。其他日本藥舖として、新嘉坡には回生藥房、江尻藥舖あり。コーラクポには長久藥房あり。ペラ州トレンシンには諸戸藥房あり。コーペンには坂本藥房あり。タイピンには藤井藥房あり。イツポにも、彼南にも、到る處日本藥舖の在らざるはなし。日本賣藥業の手足は、南洋の到處に届き居れりと謂ふて可なるべく、今や漸く信用保維に努むべきの期に入りつゝあることは、何人も認むる所なり。

第六章 日本人の護謨栽培誌

▲日本護謨林地積 日本人護謨林業の嚆矢たる笠田、中川等と同時に成功せし者、中

野光三氏あり、矢ヶ部倉吉氏あり、東境せい氏あり、井上勝榮氏あり、其他二三に止まらず。彼等は皆な第一回の護謨林に成功し、更に第二回の新護謨林を創めたり。現今馬來半島に於ける日本人護謨林の總地域は、約九萬三千七百五十一エーカーにて、栽培濟の地域は、約二萬エーカーならん。本年に入つて、三井同族會も來り、藤田組も來り、森村組も亦來り、岩崎家も來れり。總地域の九萬三千餘エーカーが果して拓き了らるゝや。這是素より問題とするの價値なきも、其半分以上が立派なる護謨たるべきは明なり。之を地方別にせば、ジョホール州に於ける總地域、最も大にして、八萬七千七百三十一エーカーなり。ネグリ、スマラン州の二千八百四十五エーカー之に次ぎスランゴール州の千四百二十エーカー、ペラ州の千零五十五エーカー之に次ぎ、彼南の同胞がペラ州に經營せるものや、新嘉坡島に在る日本人護謨林又た之に次げり。

▲ジョホール州の林業者 ジョホール西海岸には、三五公司の二萬六千エーカーに次

ぎ岩崎家の一萬エーカーの今將に三五公司に托して經營を開始せんとせるあり。故に其地積の廣大なること、其東海岸なるジョホール河岸の日本人護謨林と相比すと雖も、東海岸なる同胞の斯業が、口數の多く、特に從來其生涯の成敗を南洋に賭したる者の多數を含めるが故に、同胞の南洋發展とは、頗ぶる深く且つ廣き關係あり。従つて西海岸の其れよりも、興味を以て觀らるゝ傾向なくんばあらず。斯くの如く、今や頗ぶる吾人の視線を引ける此地も、二年前の今頃を回想せば、所謂ゆる虎猪咆哮せる深林にて、日本の何人も此地の拓殖を夢想だもせざりき。當時新嘉坡に在る香川助人氏(香川縣綾歌郡川西村の人)其地方を探檢し、ジョホール河岸の地を相し、護謨栽培地貸下を出願せり。其豫定地五百餘エーカーがジョホール政府より許可されたるは、去四十二年九月にて、日本人間に左程の注意を引かざりしが、時なる哉昨年護謨暴騰の機到るや、人は皆な狂せん計りに護謨林の創設を談じ、ジョホール河岸に栽培地を

得る者の相属して、遂に今日の盛を見るに至れり。茲に我南洋發展の中堅とも謂ふべき林業家を一覽するに方り、請ふ、先づシヨホール河岸より始めん。

地 方 豫定のエーカー 本年九月栽付 林業者姓名

シヨホール河地方	八、三〇〇	三、〇〇〇	三五公司
同	四、五〇〇	…	松方幸次郎
同	二〇〇	…	木村大介
同	二〇〇	一五〇	矢ヶ部倉吉
同	五〇〇	二〇〇	二木多賀次郎
同	二〇〇	一五〇	小山芳松
同	四五〇	一五〇	城野三次郎
同	二五〇	一五〇	福田太一

同	二〇〇	一五〇	西島安吉
同	六、〇〇〇	五〇〇	森村組
同	三〇〇	五〇	渡邊庄七
同	五四〇	一五〇	香川助人
同	二〇〇	一〇〇	多久島權七郎
同	一〇〇	五〇	井田富太郎
同	一、〇〇〇	三〇〇	渡邊知頼
同	一〇〇	五〇	小峰三次
同	五〇	五〇	椎名三藏
同	五六〇	一五〇	加藤鉦太郎
同	六〇〇	…	遠藤隆夫

シヨホール西海岸 二〇〇 五〇 原口嘉六
 同 一、〇〇〇 一〇〇 加藤季彦
 シヨホール鐵線邊 一、〇〇〇 三〇〇 〔大倉信太郎、長田秋濤〕
 △ネグリ、スミラン州はコーラ、ピラ地方及びスレンバン地方に小別し得ん。即ち如下。

コーラ、ピラ地方 三〇〇 一六〇 〔大隅直太郎、大平三郎〕
 同 一五〇 一五〇 〔高木龜太郎、木下宜照〕
 同 九〇 九〇 〔栗田安五郎、三松安五郎〕
 同 一二 一二 三松安五郎
 同 六〇 六〇 松永麟五郎
 スレンバン地方 五二 五二 大倉參太郎

同 五七 五七 久米庄三郎
 同 一八七 一八七 〔笠田直吉、松尾兼松、西田與太郎〕
 同 五〇 五〇 西田與太郎
 同 三〇〇 一三〇 木下彌三郎
 同 一、〇六七 六〇〇 〔笠田直吉、朝永誠三、外八人〕
 同 一九五 七〇 〔古賀兵太郎、原田寅吉〕
 同 一二五 前芝萬太郎
 同 二〇〇 二〇〇 〔中田延次、鎌田久兵衛〕

△スランゴールの林業者は如下。
 スランゴール州 一〇〇 三 〔米田貞次郎、木稻百太郎〕
 同 五 五 秋田又三郎

同	同	ペラ州	同	同	同	同	同	同	同	同
一五三	二〇〇	一八	七	五	一〇〇	一五	五〇	六一	二〇	二〇
一五三	一〇〇	一三	七	五	一〇〇	一五	...	六一	二〇	二〇
村上正太郎 水谷虎吉	市川鐵雄	中村宅市	古賀兵太郎	小川よし	元浦鹿藏 吉村仁德	永田伊勢之助	永田かと	森川又五郎	松山延太郎	松山延太郎

△ペラ州及び其他の地方の林業者は如下。

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	スランゴール州
六	七	五〇	一五二	六	五三	一〇五	二五〇	五〇三	八	一七
六	七	五〇	一五二	六	五三	一〇五	...	二六〇	八	一七
三浦アジ	橋爪春松	久保田米太郎	井上勝榮	山川よね	井ノ木福松	岩田三平、山下 兵吉、秋田又三郎	永田彌八郎	松田三次郎	高橋高吉	岩田三平 山下太平

ベラ州	五〇	森 方 正
同	二〇〇	中川三次郎
同	二〇〇	原田寅吉
同	二三四	姓名不詳

ケダ州にて、彼南の日本人、護謨栽培組合が經營せる豫定地域は、四百五十エーカーにて、林二百二十エーカーは栽付済なり。其他新嘉坡には、葛田顯理、東境せい、岡崎榮助及び大澤某の四氏の經營せる二百エーカー、既栽七十エーカーなると、遠藤隆夫氏が有せる皆栽株の五十五エーカーなるあり。又たボルネオ島サラワク地方に腕野護謨園として三十エーカーの皆栽林あり。

▲護謨栽培と將來 矢ヶ部倉吉氏曾て曰く「余が二木、中野の諸氏と新嘉坡島テッコンの護謨林を買ひし當時は、人皆な余輩を狂せりと評したり」と。是れ六年前の事な

り。然り而して一朝形勢一變し、護謨栽培を事とする同胞の本意掲ぐる程に達したること、誠に異數と謂ふべし。特に馬來聯邦地方に於ける小地積の栽培者の如き、一見せば、論ずるに足らざる思あらんも、皆な其實力に應じ、實着に經營せる者のみなるを以て、徒らに廣大を好めるの起業に優るは固よりの事。

將來、是等の護謨林が採液期に近く頃は、一般に労働者の需要を喚起し、日本労働者の移入も事實の上に現はれん。現今、日本労働者の需要は左程甚しからざるも、近時東洋移民會社が、新に馬來地方に其事業を擴張せんと試みつゝあると同時に、從來、支那人或はタミール人を使用せる雇主が、其不満足を慰めん爲め從來の労働者を放棄し、更に日本人を試用せんと希望なきに非ざれば、日本の移民に成功の機會なしとはせざるなり。且つ英人の護謨林に使用せる労働者監督並に事務員等、多くは英人にて、格別の俸給を得つゝあるも、他日、斯業の利益が尋常の程度に低下するに従ひ、

漸く相當給に引直さるゝは争ふべからずして、割合に低給に満足する日本人にて斯業に經驗ある者の需要も寡なからざらん。

其他、新嘉坡附近の日本人護護林の産物を蒐めて製品に従事する事業も、或は日本人を中心として企畫さるゝとも之れ有るべく、此方面に日本労働者の需要さるゝは勿論なりとす。

從來、我栽培業者は、其数の多きも、何等の聯絡なく、交通、物品購買、勞力使用等共通的利益の問題を研究する設もなく、栽培業の智識すら相交換する事だもなかりしが。本年十一月、シヨホール河附近の栽培業者の此に氣付けるあり。斯業者中、遠藤隆夫氏の首として、同業者組合の設立に斡旋せるあり。近き將來に於て有益なる機關の出現するとならん。

新嘉坡日本農地



白服は副會頭矢々那氏 中央は釋傑仙脚 着高きは會頭三木氏

漸く相當給に引直さるゝは争ふべからずして、割合に低給に満足する日本人にて斯業に經驗ある者の需要も寡なからざらん。

其他、新嘉坡附近の日本人護謨林の産物を蒐めて製品に従事する事業も、或は日本人を中心として企畫さるゝとも之れ有るべく、此方面に日本労働者の需要さるゝは勿論なりとす。

從來、我栽培業者は、其数の多きも、何等の聯絡なく、交通、物品購買、勞力使用等共通的利益の問題を研究する設もなく、栽培業の智識すら相交換する事だもなかりしが。本年十一月、ジョホール河附近の栽培業者の此に氣付けるあり。斯業者中、遠藤隆夫氏的首として、同業者組合の設立に斡旋せるあり。近き將來に於て有益なる機關の出現することならん。

新嘉坡日本業地



白服は副會長矢ヶ部氏 中央は護謨仙師 著話者は會頭三木氏

第七章 圖南志望者に注意

▲空想を懐く勿れ 南洋は天與の寶庫なり。去れど、寶庫に入る者は、何人も寶を得べしと空想すると勿れ。基督の教へたる「召さるゝ者は多きも、撰ばるゝ者は寡なし」とは、或る意味にて南洋に於ける成功に適用され得るなり。且つ何の事業に於ても、意志の堅實が成功の基礎たらざるなし。而して驕陽の直下に住むとが、自然に意志を柔軟にし、無逸の精力を滅耗するを以て、南洋に在る我國人が、知らず識らず、成功に遠かるの方角に向ふも怪しむに足らず。而して日本人の性急なる、初は多大の望を囑して、急進するも、一蹉跌の爲め、忽ち失望して、南方の事云ふに足らずとする者あり。是も亦た非なり。南洋は天與の寶庫なりと雖も、其利を收むると否とは、此に臨む人々に具はる根性骨キヤラクダの如何に存す。堅忍漸進の氣質に缺乏しながら、南洋の事を

談するは、抑も事の末ならん。

▲先來者の意見及び經驗 「南へ南へ」の聲と護謨栽培事業とは、頗に日本人をして南方に志さしめ、南洋にさへ身を置かば、好運の身に纏ふかの如く思惟せる輩の續々南洋に來航するも、赤手にして淵の魚を捕ふる真似する者の多きに居るが如し。去らば此際、先來者の意見或は經驗の一二を列擧し、此等不用意の徒に注意するも徒事ならず。

護謨栽培業者中に其人ありと知られたる渡邊國重氏は曰く「大利ありと稱さるゝ事業に、大困難の隱蔽さるゝとは往々なり。故に利のみを見て困難を豫期せざる者は、正しき意味にて、資本家と稱すべからず、事業家と稱すべからず。特に異候異風の南洋に護謨栽培を創むるに於て、此覺悟の最も必要なり」と。又曰く「南洋は、相當の資本を備ふる者か、或は無一物にて死闘する者の應さに渡來すべき所なり。左視右顧の

餘裕あり、然も堂々して企畫する力なき者の來るべきに非ずと。三五公司の智囊と呼ばるゝ木村大介氏は、日本勞働者の意志の薄弱に氣付く所ありけん。曾て「南洋に來れば、路にも賣の落ちたる様に思ひ做し、働かざるも財を得んと空想する勞働者の多きには困る」と語りたるとあり。日本の勞働者が衛生思想に富む以上は、全家移住して護謨採液の作業に従事し、夫、妻、小童の相輔けて勞働せば、最も好都合ならん。唯だ日本人が、暫時の出稼に多大の財を蓄積して、小成を故郷に誇らんとする陋心に支配さるゝが故に、萬事に心を急がし、蹉跌と失敗の多きを惜むとは氏の常談なり。新嘉坡日本商人中の錚々たる矢ヶ部倉吉氏の懷舊談に由れば、曾て困厄の淵に陥りたる際は、彼南港にて焼餅を鬻ぎて僅かに餓へざるを得たるともあり。其後少許の資本を得たるを機會に、金銀貨爲替相場に巨利を占め得たるともあり。南洋の天地に遺利多し、苟くも機才敏識と一敗を以て弓を弛べざるの意志にあらば、有爲の機會の無

きを憂ひざれとなり。又た高橋忠平氏の堅忍不拔の氣に富める、其郷里の越後たるに負かず。臺灣が日本の領土に歸するや、氏は越後の織物商として此地方に赴きしが元來俠氣に富みたる人の氣の毒にも、貸し倒れの多くして忽ち失敗せしに失望せず。更に香港に移り、遂に新嘉坡に押渡り、越後縮の行商より始め、茲に七年の苦闘を経て、南洋日本人界に一二を争ふ吳服商人たる位地を占め得たり。苟くも南洋成功者とも呼はるべき人々を擧げて、其既往を語らば、其堅忍不拔なる性格の能く今日を致せしに非ざる無きと、獨り此に擧示せる二氏のみ非ず。行て之を馬來半島に問へよ。コランポアの松田三次郎氏もイッポの山田豊三郎氏も皆な其の然るを語る人々なり。

▲衛生思想 強健なる意志は健康なる身體に宿るとは古今の通説にて、堅忍不拔の人は、必ず其意志を遂行するに足る丈の健康を有せり。熱帯の風土には一種特別の瘴

氣あり。故に事に茲土に従はんとする者は、衛生思想の缺くべからざると云ふ迄もなく、其事業を成就する前、先づ其健康を成就せざるべからず。

▲旅行者に注意 馬來半島は、日本にて聞くが如き、未開地に非ず、其土人の文化的程度の如何は措き、運輸交通の便宜は頗ぶる開け、到る處快適なる生活を發見し得るなり。其大小市街には、概ね日本人の營業せる旅館あり。コランポアの敷島旅館、(白川豊)栢屋(岩田三平)。カランの川原旅館。イッポの「かねた」(若木覺太郎)及び原田旅館。タイピンの八幡旅館(稗田長吉)。彼南の田中旅館及び栢屋等は其の特に完備せる者なりとす。其他旅館なきの部落に入るも、苟くも日本人の存する所に、日本人の旅行者を雨露に曝らす所なし。馬來半島の各處に散在せる日本人は、日本内地の同胞に比して頗ぶる同情心に富めり。這は其の多年異郷の風雨に曝され、知らず識らず相憐、共存の風を養成したるに由らん。

南洋發展終

(明治四十四年十二月十五日編輯)
明治四十五年二月七日印刷
明治四十五年二月十日發行

定價金壹圓五十錢

(送料共)



著者兼發行所

鹽見平之助

東京市本郷區駒込神明町三十七番地

印刷者

吉野貞治

東京市小石川區久堅町百〇八番地

印刷所

精美堂

東京市小石川區久堅町百〇八番地

發行所
發賣所

東京市本郷區駒込神明町三十七番地
東京市銀座區尾張町

大來社

東海堂

發賣所
東京堂、至誠堂、北隆館、上田屋、良明堂

HARIMA HOTEL.

Cable address; Telephone
Harima—Sin'pore No. 1116.

案 旅 播 事
內 館 磨 業

“マ リ ハ 號略信電”

“六 壹 壹 壹 號番話電”

Commanding Sea view.

No 5—13 Beach Road

Singapore

三十の號五通岸海坡嘉新

Hotel and
Restaurant.

No. 381. Victoria St.

Telephone, 1182.

Telegram,
MIYAKO.

Singa-
pore.



西洋料理及旅館

都ホテル

新嘉坡ヅ井クトリヤ街

三百八十一號

電話番號

一一八二

電信略號

ミヤコ

南洋事業御案内仕候

(印)

Cable Address: Telephone

"TOKUMARU, Sin' pore." No. 1044.

Sekiden-Kan Hotel.

No. 5-7. Beach Road.

SINGAPORE.

碩田館ホテル

新嘉坡海岸通五號の七

(ハイナムコンシカ)

南洋事業案内者を備ふ

電報宛名新嘉坡トクマル

電話番號一〇四四

The Best Accommodation.

(印)

Hotel Shikishima.

No. 137. Petaling St.

Kuala-lumpur,

F. M. S.

特色

二町

壯麗なる停車場より僅

す

日本式客室の設備を盡

コーランポー市

所在は馬來聯邦の主府

本館

敷島ホテル

ベタリタ街一三五號

コロンポー市

館主白川豊

(金)

Takayama Hotel.

5-19. Beach Rd. Singapore.

船客荷物
高山旅館
取扱丁寧

新嘉坡海岸通五番の九十

CHOP WING CHEONG

Tang Yeng Chew.

TAILOR.

鄧 釗

12-1. MANILA St.

Singapore.

新嘉坡マニラ街十二の一
日本語自在及大勉強

永昌洋服仕立所

(四)

日本雜貨販賣業
南洋物產輸出業一般

新嘉坡

乙宗商會

本店 乙宗商店貿易部

大阪市南區順慶町三丁目

吳服雜貨
卸小賣

日本商行本店

新嘉坡ノースブリツヂロード四〇一

電話四百八十六番

和洋小間物
日用食料品

日本商行支店

新嘉坡馬來街第二號

Yakabe & Co.

No. middle Rd.
Singapore.

雜和 貨洋 矢ヶ部商會

煙紙卷 ライト 一手販賣

日の出ビール 一手販賣

新嘉坡ミツドルロード

營業課目

和洋履物	諸國陶器	内外家具	各國賣藥	美術鼈甲	吳服太物
金物一切	眼鏡一切	茶紙罐詰	洋傘タウル	文具書林	内外雜貨

英領新嘉坡馬刺馬街三五
長久貿易商會

馬來聯邦セラネール暗隆坡

同 支店

馬來聯邦セラネール師牙岳
寶偶橫街第十九號

同 支店

浦田齒科醫院

馬來半島ペラ州イツポ
ベリョーフキールト街九十七號

1112

Japanese Dentist.

山本
考案 齒科解剖圖發賣

山本齒科院

主任
山本作次郎

新嘉坡ヅ井クトリヤ街五一號

No. 51 Victoria St.
Singapore.

1113

NAKAGAWA,

No. 2 High St. Singapore.

罐詰類
食料品
大勉強

商中
店川

雜和
貨洋
知賣

番二街イハ坡嘉新

FUKUYA,

17 Middle Rd. Singapore.

類酒類詰罐貨雜

屋福

七七一ドールドミ坡嘉新

CHINA

DENTAL
ALL.

o. Dr. Imaoka.

今岡豊三主任

今岡

新嘉坡

醫院

チロード三三八

一科醫院

フリツヂロード九八

M. S. Nakajima.

PHOTOGRAPHER

AD STUDIO

5-7,9. High Street
Kuala Lumpur,

中島照相館

本館及び雜貨部

馬來半島コーランボ

ハイ街二三五、二三三

七、二三九號

分館

スランゴ

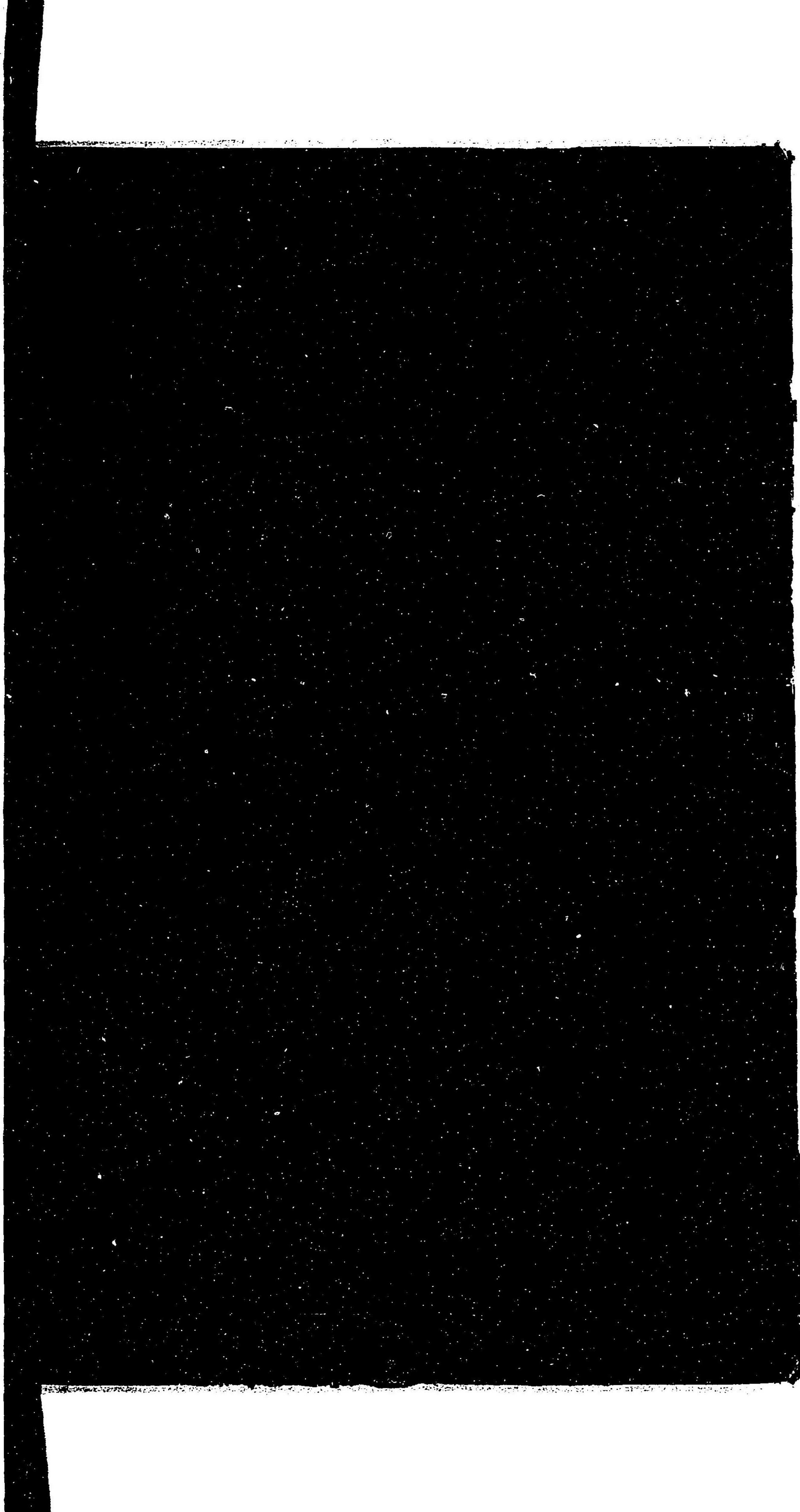
ル州カラン

332

225

8611

(A)





041526-000-9

332-225

南洋発展

塩見 平之助/著

M45.2

BDG-0146



